

The

FOR ALL THE MOTORCYCLE, CAR & MUSIC LOVERS

TAKE
FREE!

Enshu Siast

エンシュージアスト

2020 / Vol.4

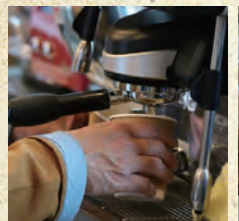
Magazine



NO ENJOY, NO LIFE

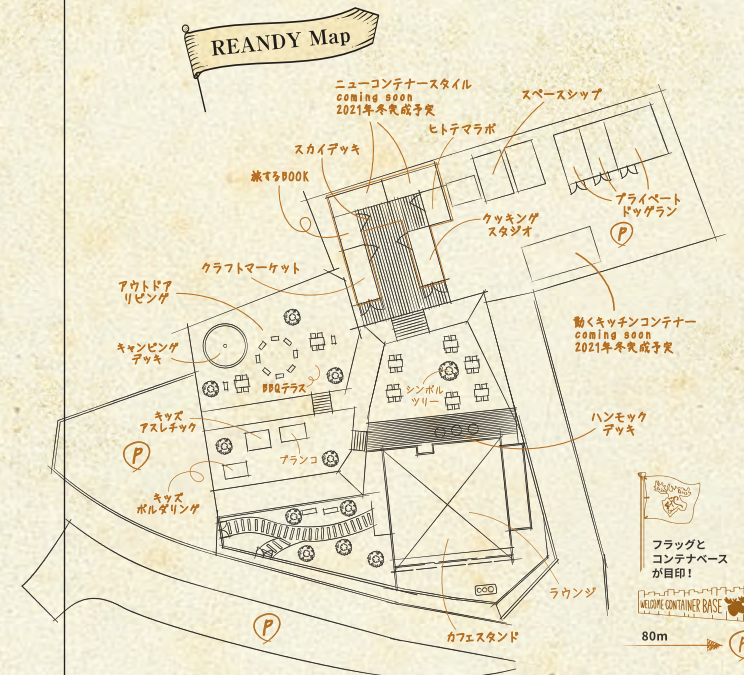
「好き」を諦めるな。

(R)E
AND
—Y.



コラボしながら
みんなで創る
クリエイティブなカフェ

浜松を中心に人気店や注目のお店
など、週替わりでさまざまな人たちと
コラボしています。ドリンク、スイーツ、
そしてフード、さらにはBQがあったり
音楽の生演奏が聴こえたり。
リアンディは刺激的な時を過ごすこと
ができるカフェなのです。



最近、少しばかり窮屈を感じていませんか？
いままでの価値観と新しい価値観がせめぎあっている
こんな今だからこそ、自分の心を解放し、刺激を受け新しい
ワクワクを感じることが必要。

「リアンディ」は、約1500坪の敷地にカフェやコン
テナハウス、そして自由な野外空間が広がっています。
そこには、さまざまなクリエイターとコラボレーショ
ンした斬新で新しい刺激が沢山あります。

常に変化し続ける「リアンディ」。
ここには来る度に新しい驚きと発見があります。

解放せよ！

ACCESS



【リアンディ】は、 あなたの二つめの庭。

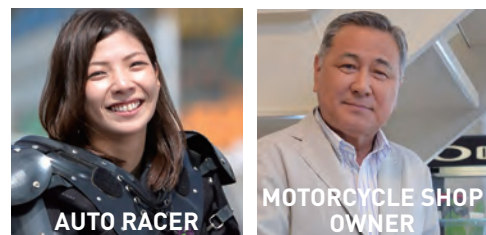
ヒトとヒト、モノとモノ、コトとコトがつながり
新しい暮らしのヒントが生まれる。
そんな刺激的でクリエイティブな庭。
使い方はあなた次第です。

【RE】:再構築。いまある物を掛け合わせて作る新しい物、価値感。
【AND】:つなげる。ヒトとヒト、モノとモノ、コトとコト。
【Y=STORY】:モノが持つ物語、【Y=YEARS】:モノが育んだ年月。

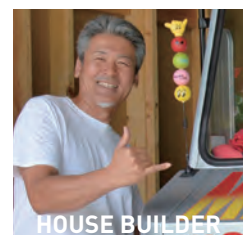
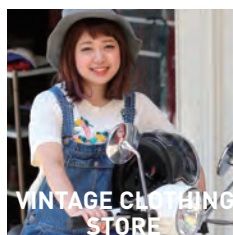
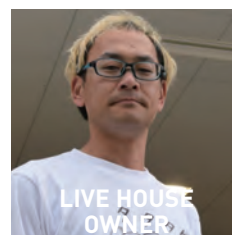
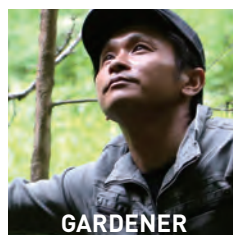
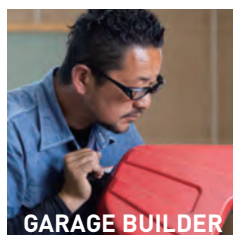
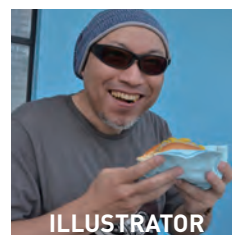
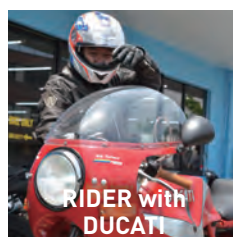
【リアンディ】

〒431-0101 浜松市西区雄踏町山崎6265-1
TEL:053-489-8000 MAIL: info@reandy.jp
https://www.reandy.jp/
営業時間/平日 11:00-16:00、土日祝 11:00-17:00
定休日/水曜

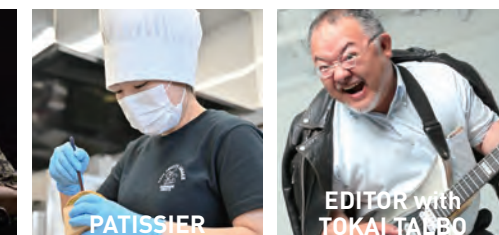
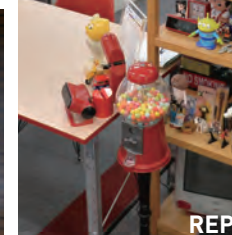
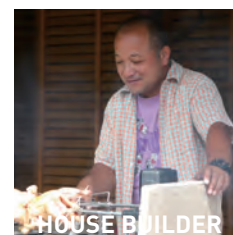
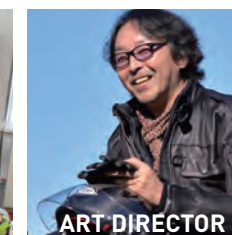
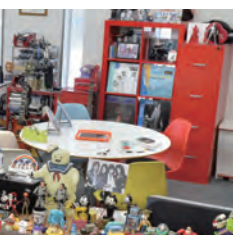
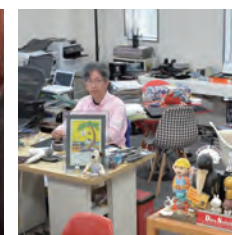
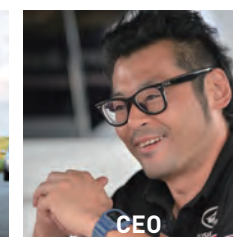




続けること、繋がること、そして何よりも諦めないこと。
 こんな時代だからこそ、エンシェージアストは走り続けます。
 仕事であれ、趣味であれ、人は何かに熱中し、楽しんでいるときが一番輝いています。
 さあ、みなさんも一緒に前に進んで、
 ここ遠州に熱気と活気と勇気を
 呼び戻しましょう！



Continuation is power! *Enshu Siast*



撮影協力 : WATTS
Photo : TEXAS Ohnuma
Text : Yamasan Yamakawa

春先から始まった、いつもと違う日常。行きたくても行けない、やりたくてもできない…。ステイすることには慣れたけど、やっぱり「好き」はやめられない。またみんなで一緒に走りたいし、歌いたいし、とにかく「好き」なことに熱中したい。今はまず、ここ遠州が発信源となり、新しいライフスタイルの中で「好き」を解放してみようじゃないか。その先にはきっと「大きくて新しい何か」が待っているはずだ。

「好き」を諦めるな。

2018年5月
浜名湖 LIVE HOUSE 「WATTS」にて

The EnshuSiaast Magazine



VOL.4 CONTENTS

EnshuSiaast Profile「遠州の熱中人」 08

特集・1

NO RIDE , NO LIFE

エンシュージャストがイチ推しするライダーのためのバイクウエア&ギアコレクション 12

特集・2 Right Place, Right Time

YES, IT'S MY LIFE!

Enshu
Siaast's
Choice!

エンシュージャストが厳選した、最高のライフスタイルを持つ「生き方の達人」たち 21

EnshuSiaast Recommend「さいまかなきぶん」 30

EnshuSiaast LOVES *Hamburger!* 32

仲間拓の「俺と唄え!」 浜松歌唄い交差点化計画 34

企業ミュージアムへ行こう!

あや子先生と学ぶ遠州ものづくりの歴史 36

オグショーが広げるアウトドアスポーツの世界

遠州のオフロードをもっと楽しく。 42

エンシュージャスト経営学 株式会社デイトナ

やりたい人が、やりたいことをやれる会社。 46

遠州の銘品「東海楽器製造株式会社・YOTARO & SAKURA」 50

ENSHUSIAST INFORMATION 52

音楽コラム ～「ドはドーナツのド」 52

GS偏愛コラム ～ Good Day Sunshines 54

From Editors ～ 編集後記のような話 56

EnshuSiaast Friendly Shops 57

コラム～ 喫茶ゆるはま 58

AD INDEX (50音順)

有限会社オグショー…P.45、川島モーターズ…P.20、株式会社クシタニ…表4、株式会社サンガ…P.59、株式会社ティーケー・カンパニー…P.53、東海楽器製造株式会社…P.51、マンブルズ…P.51、リアンディ…P.02～03

The EnshuSiaast Magazine Vol.4

2020年10月25日発行

Publisher : Hiroki Yamakawa Editor : Satoshi 「TEXAS」 Ohnuma

Editorial Staff : Don U1 Sahara, Agito Ishizuka, Katsumi Matsushita,

Takuya Hiramatsu, Yamasan Yamakawa, Kosuke Ogusu, Takumi Watanabe

Photo : Hidekazu Kurumiya, Taketoshi Kurebayashi, Masahiro Furuhashi, Takumi Watanabe

Text : Texas Ohnuma, Don U1 Sahara, Agito Ishizuka

Illustration : STINK SIGNS, Miki Yamashita, Watataku Takumi

Model : Kira Nomata, Minami Suzuki



発行 : 有限会社キーウエスト クリエイトィブ

〒430-0928

静岡県浜松市中区板屋町101-22 エンシュージャスト編集部

TEL : 053-450-0222 FAX : 053-450-0225 mail : info@key-w.com

印刷 : 東海電子印刷株式会社

表紙 Model : Minami Suzuki Photo : Taketoshi Kurebayashi

21 Gardener



Hiroki Bito

和・洋にとらわれず、独自の感性で庭を作る

庭 楽 尾籠広記

家業の造園業を小さい頃から手伝う中、庭や公園が出来上がった時の充実感を知り、庭師を目指すことを決意。専門学校を卒業後、造園会社での修行を経て、2004年「庭楽」として独立開業。庭は人にとって一番身近に自然を感じられる場所だと考え、その中に楽しみを加えた庭づくりを目指している。幼少期から親しんだ山や川での遊び、遊彩書画や茶道を通じて感性を磨き、和・洋にとらわれず造園、施工、管理、外構工事と外まわりを総合して手掛ける。今後も「ご縁・感謝」の気持ちを大切に日々精進していきたい。



雨が降り、森を潤し、川となり魚が育つ。水がもたらす「恵」をテーマに大自然の大切さを表現した作品。

庭 楽

浜松市北区細江町気賀1469-12
Mobil : 090-5623-8807



今の山の景観を生かしながら、どんな場所にしていこうかとアイデアは尽きない。



茶道は裏千家、現在は講師の免状を頂き修行中。県外の茶会でも亭主役を務めることもある。



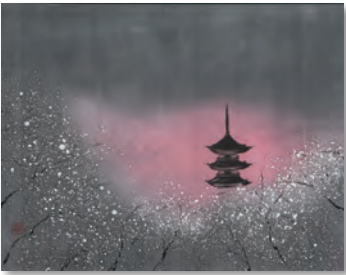
バイクも大好きで、HDスポーツスター883が現在の愛車。



「鳳凰」
第28回ミレー友好協会展
書部門 公募優秀賞



「瀧」
第42回東洋書芸院
公募展 瓦木賞



「夕暮れ桜と五重塔」



山や森から得た
インスピレーションが
次なる躍動を生む。

庭師・遊彩書画家

尾藤広記

庭師として 遊彩書画家として

幼少期よりやっていた書道。ある展覧会で、書画色、あらゆる要素を取り込んで一つの作品に昇華する「遊彩書画」の独創的な世界と師に出会い、魅了され、即座に弟子入りを願った。以来、在るがまま、思うがままに夢中で作品を描き続け、いくつかの公募展での受賞、招待作家として作品を出展、天竜浜名湖鉄道「日フリー」絵馬切符への書画の提供、個展の開催など、師から認定証も受け、遊彩書画家として活動している。

「この技法にとらわれず、刷毛や草などを筆がわりに使ってみたり、蠟書の技法を取り入れたり、様々なアイデアを実践しながらも天衣無縫な作品づくりを目指す。」
紙の上と一つの空間を表現の場とする行為は、庭師にとっての庭造りのバランス感覚と同じ。文字のみを書くのではなく、そこに自分のイメージを色や形とともに加え、描くことによって言葉がカタチとなって浮かび上がってくるような気がする。自然のエネルギーを感じ取り、向き合う姿勢は、庭師にも遊彩書画家にも共通するものかもしれない。

山を譲り受ける覚悟

「君なら今の山の風景を壊さずに次の世代に残してくれるだろう」と、知人から、山の権利を譲り受けた。それは庭師として木々や草花、土や石とともに生きる姿を認められたように嬉しかった。
この場所は、まず環境保護を目的として、自然は極力残しながら、いすれは自然好きな気の合う仲間や子供たちが自然と触れ合うことのできる空間にできたらと思う。
そんな山の中で書をしたためた。「和気致祥」
気持ちが穏やかであれば、自ずと幸せになるという意味だ。晩夏の深緑の色合いの中、あえて今回は墨色で筆を運んだ。昂ぶる気持ちを抑え、穏やかであらうとこの言葉を選び書きあげた。



25 Priest



Noriyoshi Ishizu



バイクを通じて、ワクワクを共有したい

大蔵神社 権棚直 石津紀祥

平安時代創建の由緒ある神社で代々神主を務める家に生まれ、学生時代にバイクの楽しさに目覚めた石津さん。愛車はCB750Fを始め5台を所有。浜松は「バイクのふるさと」を謳いながら、ツーリングの目的地となる場が少ないと感じ、新しい神社のあり方として「ライダーが集える場所にしよう」と立ち上がったのは令和へと元号が変わった2019年。ハンドルに付ける「道楽御守」が口コミで広がり、各地からライダーが集まってくるようになった。今後は市内のライダースポットやお店を動画やTwitterで発信するという。楽しみながら地域を想う気持ちは誰よりも熱かった。

延喜式 天王宮 大蔵神社
<https://www.ootoshi-jinja.or.jp/>
twitter:@ootoshi1douraku

24 Beekeeper



Yoshito Nagasaka



三ヶ日の自然、環境、そして人への感謝を忘れない

(株)長坂養蜂場 代表取締役社長 長坂善人

「三ヶ日のお陰で今まで養蜂場をやった」と語る、創業85周年を迎えた長坂養蜂場の三代目。そんな長坂養蜂場が浜松市中心街に【はつみつスイーツアトリエ】を出店する。「三ヶ日の良さを街中の人に伝えたい。そして街中の人たちと一緒に何かを作りたい」さらに「三ヶ日以外の地域のものも商品に取り入れて、その地域のことも伝えたい」。開店はもう少し先だが、プロジェクトは進行中。ビルの屋上を使って採れたはちみつは、コロナ禍で大変な街中の飲食店へ無料提供する予定。常にはちみつの可能性を模索し続ける長坂氏、今後の展開が楽しみである。

(株)長坂養蜂場
浜松市北区三ヶ日町下尾奈97-1
TEL:0120-40-1183
<https://www.1183.co.jp>

23 Pâtissier



Sayaka Ohishi



愛情たっぷりのケーキで、みんなを笑顔に

SAYA SWEETS GARAGE 大石紗夕香

イベント会場で一際存在感のある大きなアメ車でシフォンケーキの移動販売を行う大石さん。子どもの頃からケーキが大好きで、パティシエになる夢を叶えるため製菓学校を卒業、地元の製菓店で修行を積み、2019年に父が作ったキッチンカーとともに独立した。愛情を込めて、一つ一つ手づくりして焼き上げるシフォンケーキはしっとり、ふわふわの食感。「ケーキの前では、みんな自然と笑顔になるんですよ」と言い、多くの方に笑顔を届けるため、いろんな街に出掛けたいと語る。幸せを運ぶキッチンカーで、今日も遠州の道を元気に走り抜けていく。

SAYA SWEETS GARAGE
<http://saya-sweets.com>
instagram:sayasweetsgarage

22 Musician



Taku Kikima



地元浜松を本当の音楽の街にしたい

シンガーソングライター 間間拓

浜松の路上がミュージシャン・間間拓の原点。10年ほど東京に活動拠点を移して活動していたが、ピアノとのユニット「ききまたく」の解散を機に拠点を浜松に戻した。「どちらにしてもほとんどツアーに出てるんで、どこに居てもあんまり関係ないんですけどね」といながらも、やはり浜松は生まれ育った街。音楽で浜松を盛り上げたいという思いは強い。全国を回る中で知り合った音楽仲間たちを浜松に呼んでライブをしたり、浜松で活動する仲間にももっと外に出て地元以外の音楽事情を知って欲しいと語る。「浜松を音楽の交差する街にできたら」そんな思いを胸に間間は今日もライブハウスで唄う。本紙P.00の「間間拓の俺と唄え!」も必読だ。

間間拓公式サイト
<http://kikimataku.com/>

ペペモーターサイクルスは、
DEGNER・godblinc・PLOT
などの正規代理店です。
お好みのライディングスタイル
をバイクのカスタムからアパレル
までトータルのコーディネート
を提案します。

◆Tシャツ：ペペオリジナル ラグランT
シャツ／2,709円(税抜) ◆サロベット
：グレイスエンジニアーズ製 デニムサ
ロベット(GE-110)／15,000円(税抜)
◆ブーツ：DEGNER製 レザーブーツ
(HS-B8)／19,800円(税抜) ◆バッグ
：DEGNER製 がま口レザーボディバ
ッグ(W-107)／19,800円(税抜) ◆グ
ローブ：ビルトウェル製 モトグローブ／
4,000円(税抜) ◆ゴーグル：ビルトウェ
ル製 モトゴーグル／5,986円(税抜) ◆
ヘルメット：TT&CO製 ジェットヘルメット
500-tx／14,500円(税抜)



DEGNER製
がま口レザーボディバッグ(W-107)
19,800円(税抜)

柔らかい本革を使用した「がま口レザーボ
ディバッグ」は見た目以上にたっぷり収納で
きるので、タウンユースからツーリングまで
様々なシーンで活躍。ベルトの調整幅が広い
から、お好みで肩から掛けても腰巻きでも使
用できます。



ペペオリジナル ラグランTシャツ
2,709円(税抜)

当社ではオリジナルアパレルも販売してま
す。「このロゴでロント欲しいな…」などの
オーダーもOK。ご相談ください。

Model：AYUMI

当社創業からのお客様で、いつも明るく笑顔
で元気。趣味の釣りも愛車のKAWASAKI
Ninja250Rで引っかう生粋のバイク好き。



PEPE MOTORCYCLES

with KAWASAKI W650



KAWASAKI W650 PEPE'S ORIGINAL CUSTOM
重厚感と軽快感をミックスしたスクランプラススタイル。絶妙な
ローダウン量とアイテムをチョイスしたオリジナルカスタム。



東名高速道路浜松インターより車で南に3分
オートバイの持つ無限の可能性と魅力をご提案します。

PEPE
MOTOR CYCLES

PEPE MOTORCYCLES
<https://www.pepe-motorcycles.com>

〒435-0041 静岡県浜松市東区北島町1409-5
TEL:053-581-7685 FAX:053-581-7687
営業時間 10:00~20:00
定休日 毎週木曜日 & 第2金曜日



SOMETHINGS TO ENJOY RIDING YOUR MOTORCYCLE

NO RIDE, NO LIFE

RIDING WEAR, GEAR, MOTORCYCLES...and MORE!
エンシュージアストがイチ推しするライダーのためのバイクウェア&ギアコレクション



NO RIDE, NO LIFE



右メンズ ◆ジャケット：K-0698 レギュレータージャケット／64,000円(税抜M、L、LL) 74,000円(税抜L/3W、XL) ◆パンツ：K-1967 エクスパンションカットパンツ／21,000円(税抜) ◆グローブ：K-5330 コンフォートグローブ／15,000円(税抜) ◆ブーツ：K-4536 モカシンブーツ／42,000円(税抜)

左レディス◆ジャケット：KL-2807 ガルジャケット／45,000円(税抜) ◆パンツ：KL-2246 ストレッチフィットパンツ／17,000円(税抜) ◆グローブ：K-5323 ライダースグローブ／9,000円(税抜) ◆シューズ：K-4573 ブロックフローシューズ／24,000円(税抜)



K-0698
レギュレータージャケット
ソフトな革を採用したフード付レザージャケット、襟周りのパターンを改良し、身頃・袖にゆとりを持たせ、着丈も長くするなどしたマイナーチェンジモデル。



KL-2807
ガルジャケット(レディス)
伸縮性のあるソフトシェル素材を採用したフードスタイルジャケット。袖下・脇には立体感のあるグラフィックエンボスを施した生地を採用しています。中綿には軽く保温性の高いダウンライクを使用。

KUSHITANI HAMAMATSU

with KAWASAKI W650

ライダーにほっとする一杯を提供する「KUSHITANI CAFE」。県内は清水と舘山寺の2店舗。ツーリングの集合場所や休憩場所としてぴったりで、カフェを通じてライダー同士の交流を広げます。



KUSHITANI CAFE 清水
静岡市清水区小河内885-1 TEL:054-394-0603
営業時間:平日9:00~18:00 土日祝7:00~19:00
定休日:無休



KUSHITANI CAFE 舘山寺
浜松市西区舘山寺2251-3
TEL:053-523-9169
営業時間:10:00~17:00 定休日:水・木曜日



株式会社 クシタニ

<https://www.kushitani.co.jp>

浜松市南区三島町231 TEL:053-441-2516

DAYTONA LEATHERS

with HONDA Rebel 250

トラディショナルなライダーススタイルにデイトナならではのこだわりを加えた「デイトナレザー」が本格始動。ジャケットやパンツはプロテクター(別売)などを装着することも可能。乗るバイクを選ばない、コストパフォーマンスに優れたラインナップです。

右メンズ ◆ジャケット：DL501 ス克蘭ブラーレザージャケット／27,000円(税抜) ◆パンツ：DL005 レザーパンツ(メンズ)／21,000円(税抜) ◆グローブ：HBG-057 内縫いウインター／12,700円(税抜) ◆ブーツ：HBS-005 マウンテンブーツ／16,000円(税抜)

左レディス ◆ジャケット：DL003 Wライダース／29,000円(税抜) ◆パンツ：DL005 レザーパンツ／21,000円(税抜) ◆ブーツ：HBS-005 マウンテンブーツ／16,000円(税抜)

◆ヘルメット：NOLAN N40s(ソリッドスクラッチクローム)／31,000円(税抜)



DL501
スクランブラーレザージャケット
ベジタブルタンニン牛革(COW)にWAX加工を施した、オールドルックのスクランブラースタイルジャケット。プロテクターは別売のSAS-TECが使用可能。



DL-003
Wライダースジャケット
しっとりとした牛革を贅沢に使ったダブルライダース。中綿入りのインナーベストは脱着式なのでオールシーズンに対応。背中がめくれ上らないパツジョイント付き。



今回登場したHONDAレブル250は、デイトナのオリジナルパーツが装着された、特別なカスタム仕様。



株式会社 デイトナ

<https://www.daytona.co.jp>

静岡県周知郡森町一宮4805
TEL:0120-60-4955

NO RIDE , NO LIFE

VESPA BY KAWASHIMA MOTORS with VESPA GTS Super150 Racing Sixties

<http://www.kawashima-motors.co.jp>

【川島モータース本店】 浜松市中区城北1-10-8 TEL : 053-471-2543
営業時間: ショールーム/9:30~19:00 サービス工場/9:30~18:00
定休日: 毎週木曜日

◆ヘルメット: VESPA JET HELMET ITALIAN TRICOLORE/18,000円(税抜)

Model: Nami Koga



VESPA BY KAWASHIMA MOTORS

NANKAI 南海部品 Hamamatsu with YAMAHA YZF-R6

<http://www.nankaibuhin.co.jp>

浜松市東区和田町847 TEL : 053-463-0111
営業時間: 平日11:00~20:00 土・日・祝日10:00~19:00
定休日: 火曜日(祝祭日は営業)

右メンス ◆ ジャケット: SDW-8130 ケブラーフーディージャケット/14,500円(税抜)
左レディス ◆ ジャケット: SDW-4127 ソフトシェルオールシーズンジャケット/31,800円(税抜)



KAWASAKI PLAZA

KAWASAKI PLAZA Hamamatsu with KAWASAKI W800

<https://www.kawasaki-plaza.net/hamamatsu/>

浜松市西区入野町10001 TEL : 053-415-1177
営業時間: 10:00~19:00 定休日: 毎週水曜日、第2木曜日

◆ジャケット: カワサキRIDERS JACKET(レディス)/99,500円(税抜)
◆Tシャツ: カワサキV NECK T SHIRT/6,980円(税抜)
◆パンツ: カワサキ×RED CARD ストレッチ側章デニム(Anniversary 25th)/23,000円(税抜)

Model: Kanna Adachi



NAP'S HAMAMATSU

Y'S GEAR with YAMAHA XSR155

<https://www.ysgear.co.jp>

袋井市久能3001-8 TEL : 0570-050814(商品お問い合わせ先)

◆ジャケット: YAF64-K ガルジャケット/48,000円(税抜)
◆グローブ: YAG55-K GPゼストウィンターグローブ/18,000円(税抜)



HONDA DREAM

Nap's Hamamatsu with Harley-Davidson XL883N

<https://www.naps-jp.com/shops/shoplist/hamamatsu/>

浜松市東区原島町525 TEL : 053-411-117
営業時間: 平日10:30~20:00 土・日・祝日10:00~20:00
定休日: 水曜日(祝祭日は営業)

右メンス ◆ ジャケット: PJ-20202 N-3B ライダース/33,800円(税抜)
左レディス ◆ ジャケット: PJ-20201 FUR ライダース/32,800円(税抜)



Y'S GEAR

HONDA DREAM Hamamatsu with HONDA CROSS CUB110

<https://www.hm-tokai.co.jp/hamamatsu/>

浜松市中区下池川町27-10 TEL : 053-412-6330
営業時間: 10:00~19:00 定休日: 毎週水曜日・第2火曜日

左メンス ◆ ジャケット: ドライマスターエクスプローラーオールシーズンジャケット/33,000円(税抜)
左レディス ◆ ジャケット: 防風ソフトシェルジャケット/18,000円(税抜)

NO RIDE , NO LIFE

DATZ Hamamatsu with BMW Motorrad S1000RR

<https://www.datz-bmw.jp/outline/hamamatsu/>

浜松市西区湖東町3377-1 TEL : 053-486-1200

営業時間: 10:00~19:00 定休日: 毎週水・木曜日

◆ジャケット: カワサキRIDERS JACKET (レディス) / 99,500円 (税抜)

◆Tシャツ: カワサキV NECK T SHIRT / 6,980円 (税抜)

◆パンツ: カワサキ×RED CARD ストレッチ側章デニム (Anniversary 25th) / 23,000円 (税抜)



DATZ HAMAMATSU

DUCATI Hamamatsu with DUCATI Streetfighter V4

<https://www.kawasaki-plaza.net/hamamatsu/>

浜松市南区安松町21-6 TEL : 053-411-8880

営業時間: (平日) 10:00~19:00 (土日) 9:00~18:00

定休日: 毎週水曜日、第1第3火曜日

◆ジャケット: DUCATI OUTDOOR / 36,944円 (税抜)

◆ジーンズ: COMPANY C3 / 23,981円 (税抜)

◆ブーツ: SCRAMBLER BY BLNST・Bloodstoneサイドゴアブーツ / 34,166円 (税抜)



DUCATI HAMAMATSU



HYOD PRODUCTS HAMAMATSU

HYOD PLUS Hamamatsu

<https://www.hyod-products.com/>

浜松市東区市野町2732 TEL : 053-465-8282

営業時間: 10:00~19:00 定休日: 毎週火曜日

◆ジャケット: ST-J544 ST-W FALX / 32,900円 (税抜)

◆パンツ: HYD530DT HYOD D30® STYLISH CARGO PANTS "WARM LAYERD" / 21,000円 (税抜)



HARLEY-DAVIDSON HAMAMATSU

YSP Hamamatsu with YAMAHA NIKEN

<https://www.ysp-hamamatsu.co.jp>

浜松市中区茄子町353-15 TEL : 053-465-4545

営業時間: 10:00~19:00 定休日: 毎週水曜日

◆ジャケット: YAS48R クロスオーバー メッシュジャケット / 24,000円 (税抜)



YSP HAMAMATSU



ENSHUSIAST & MOTO SERVICE EDGE

PRESENT

EnshuSiast

<https://enshusiast.com>

MOTO SERVICE EDGE

with SUZUKI GSX-R1000

<https://ms-edge.jp>

浜松市浜松市南区御本町 82 TEL : 053-424-8586

営業時間: 平日 11:00~20:00 土・日・祝日 10:00~19:00

定休日: 水曜日・※祝祭日が水曜日の場合は営業します。

P.30に掲載された物作り工房「さいまかなきぶん」とのコラボレーションにより、エンシュージアストのオリジナルTシャツが完成しました。今後フレンドリーショップや展示会などで販売する予定ですが、まずはてきたのTシャツ (ブラックにゴールドのロゴ入り・メンズMサイズのみ) を抽選で3名様に、また今回撮影協力いただいたモトサービスエッジのオリジナルフッペンを2名様にプレゼントいたします。タイトルを「エンシュージアストプレゼント希望」とし、ご希望の商品、住所、氏名、年齢とエンシュージアストに対するご意見、ご希望などをお書き添えの上、下記メールアドレスまでお送りください。締め切りは12月末日、発表は発送と替えさせていただきます。メール: info@key-w.com





YES, IT'S MY LIFE!

クルマ、バイク、ホビー、ガレージ、キャンプ、音楽、ガーデン・・・
「好き」を諦めない熱中人たちは皆それぞれが最高のライフスタイルを持っている。
そんなエンシュージヤストが厳選した「生き方の達人」たちを一気に紹介!



SINCE 1947...



友人とツーリングで走るのが何より楽しかった。
手前よりヤマハXS650、川嶋会長とホンダドリームCB450、友人とヤマハXS-1。



川島モータースの創業は1947年、創業者の川嶋貞一(左)から現会長の川嶋光恵(右)が経営を引き継いだ。誰よりも仕事熱心で遠州のライダー達から頼られる存在となった。



バイクメーカーが軒を連ねていた六軒道路沿いの旧店舗。多くのライダーが憧れのバイクを求めて集まってきた。

遠州地域のバイク文化とともに。

川島モータースは創業73年を迎える、遠州地域では最も歴史のある二輪の総合販売ディーラーです。
これまで多くの二輪メーカーとともに「バイクのふるさと」としての文化を創造してきました。
これからも川島モータースは「バイクに夢を乗せて」走り続けます。



取扱メーカー
HONDA YAMAHA SUZUKI Kawasaki KTM aprilia MOTO GUZZI Vespa



城北本店

〒432-8011 浜松市中区城北1-10-8
TEL.053-471-2543

営業時間：ショールーム9:30~19:00、サービス工場9:30~18:00
休業日：木曜日



元浜店

〒430-0942 浜松市中区元浜町76-5
TEL.053-478-0877

営業時間：ショールーム9:30~19:00、サービス工場9:30~18:00
休業日：水曜日



カワサキ プラザ浜松

〒432-8061 浜松市西区入野町10001
TEL.053-415-1177

営業時間：10:00~19:00
休業日：水曜日、第2木曜日



城北本店は2018年より
「ヤマハアドバンステイラー」認定店です。



<http://www.kawashima-motors.co.jp/>

TAKABAYASHI'S COLLECTION



1/43 Nissan Laurel 2000SGX (C130) Green

ローレル (C130)前期型のカスタム仕様を1/43スケールレジンモデルで再現。ハヤシストリート14インチホイールにローダウン仕様。メッキミラー、ノーマルシート、マニュアルシフト、ダットサンコンペティションハンドル、「TS-X10」スピーカー、デュアルマフラー装着。
発売中 ¥19,250 (税込)



1/18 Nissan Skyline 2000 GT-X (GC110) Silver

Skyline 2000 GT-X (GC110) ヨンメリをベースにしたカスタム仕様を1/18スケールレジンモデルで再現。ハヤシストリート14インチホイールに引っ張りタイヤ&ローダウン仕様。フロントリップスポイラー、リヤスポイラー、デュアルマフラー、内装はノーマル仕様。
2020年11月発売 ¥30,250 (税込)



1/18 Nissan Skyline 2000 GT-ES (C210) Black

スカイラインジャパン前期型 (C210) のカスタム仕様を1/18スケールレジンモデルで再現。RSワタナベ15インチホイールにローダウン仕様。前後オーバーフンダー、フロントリップスポイラー、フェンダーミラー、シングルマフラー、サイドストライプ、モモタイプステアリング装着。
2020年12月発売 ¥30,250 (税込)



お問い合わせ: 株式会社ティーケー・カンパニー

TEL. 053-545-3436

〒437-1203 浜松市東区有玉北町2071

<https://ig-model.com/>

※オフィスでのミニカーの販売はおこなっておりません。



'92 デルタ・HFインテグラレ (エヴォII) はWRCのホモログモデル。ホイールはスピードライン、ウィングも立てて当時のWRC仕様のイメージで仕上げた。手に入れた名車を自分のイメージに合わせ細かくカスタマイズする。



Enshu Siast's Choice!

それぞれにストーリーを背負った名車たち。
'67 ジュリア・スプリントはレース仕様を街乗りに戻したカフェレーサー風。'76 ボルシェ・911Sはタミヤがモデル化するために実車をばらしたという伝説を持つ。'86 ベンツ300TDは京都の内科医の奥さんが乗っていたエレガントな1台。



クルマへの愛と情熱を具現化した 生粋のエンシュージアスト。

イグニッションモデル (浜松市) 代表 高林 徹

好きが先か、仕事が好きか

アンバー色のライトに照らされたウッド貼りの打合せスペース。右手の壁際にはモデルカーを飾った幾つものショーケースが並ぶ。左手のビルトインガレージにはガラス越しに歴史を背負った名車たちが見える。そこには車を愛する人を魅了する夢のような空間が広がっていた。往年のカスタムを施した精緻なモデルカーで熱狂的なファンを持つイグニッションモデル。代表の高林さんは、まさに生粋の「エンシュージアスト」。幼少期に遊んだトミカが車に興味を持った原点。父の運転で出かけた際も、すれ違う車の名前を全て言えるほど、幼い頃から車に夢中だった。プラモデルやラジコンを経験し、大学でも車に乗りたい一心で自動車部に所属した。卒業後、憧れのタミヤに入社したのも必然の成り行きだった。入社して最初に手に入れたのはブリティッシュグリーンのMG B。出社前の儀式はタバコ本分の暖気。実はその時間で会社に着いてしまふほどの距離だった。車好きばかりの会社へは雨でもMG Bで通った。「車は僕の生活の全て。趣味でもあり、今は仕事でもあります。寝ても覚めても、いつでも車のことを考えています。」

カスタムの文化を伝えていく

高林さんが立ち上げたイグニッションモデルでは、年代やジャンルによって異なる「カスタマイズの文化」と向き合う。リアルにとことんこだわった造形は、元となる実車を3Dスキャナーで綿密に取材することからスタートする。「実車のないモデルカーは商品化しません。大切にしているのは、車の後ろにある乗り手の気持ちや当時の文化・スタイルです。僕が乗り手に成り切って『何がカッコいいか、自分だったらどう乗るか』を考えます。3Dスキャナーを使っても、最終的には人の感性で判断します。」モデルカーを買うお客様は真剣そのもの。ホイールやステアリングなどのパーツ選択、キャンバーの角度やチリの合わせに至るまで、「こんな処まで忠実に再現されている」ことに歓喜して、そのオーナーに成るために選んでいく。メーカーの承認を取ることも大切なプロセス。時にはデザイナーが出てきて、車の細部に至るまで入念に検証を受ける。修正指示があれば、現場に戻して承認が取れるまで造形を繰り返す。そんな真摯な姿勢が評価され、メーカーから依頼を受けた商品も作ってきた。「匂いや音、手触りなど五感を刺激する内

燃機関にたまたま惹かれます。カスタム車のモデルカーを
作ること、車の文化を伝えていきたいと思っています。」

好きを極めた究極のライフスタイル

車以外の趣味はサーフィン。20代から始めて、今でも週1回は必ず波に乗りに行く。「その頃、MGからボルボに乗り換えました。サーフィンに行くのに一番合っているのは何かって考えて。」生活が変われば、車も変える。ガレージに収まる4台もタイプはさまざま。当然出かける時は、それぞれの車に合った服装で運転する。車が生活の一部にまでなると、もはやその人自身のスタイルとなる好例である。「サーフィンをしている時が、唯一。無になれる時間です。だから週で波に乗って、自分をリセットする。帰ってきたら、また車のことを考え続ける日々ですね。」子どもの頃、すれ違う車の名をそらんじていた少年は、今では気になる車を見ると次のモデルのことを考えてしまふという。「街で見かけて気になる車は大抵『いい顔してる』。昔から車を見ると人間の顔に見えてしまったんですよ。今乗っている車もみんないい顔ばかり。最近では『優しい顔』に乗ることが多いかな。」車のことを飾らず饒舌に語る高林さんに、こやかに話す姿は最高の笑顔にあふれていた。

Right Place, Right Time.
YES, IT'S MY LIFE!



これぞバイク乗りの夢の空間。走ってよし、
いじってよし、眺めてよし。天気や季節に左
右されず、好きな時に好きなように楽しめる。
愛車の横でテレワークすれば、ステイ
ホームも怖くない。

OHISHI'S COLLECTION



1970 CHEVROLET C-10

大石さんと同じ年生まれのC-10。エンジンルーム内までフルカスタムされるが、有り余るパワーにミッションが悲鳴を上げる事も。



1990 PUBLICA PICKUP

GAO NISHIKAWA氏がデザインし、先日のTVWでも大きな注目を集めた。SUNOCO GARAGEにぴったりと収まり、小気味良い走りが持ち味の1台。



1990 GSX-R1100

油冷最終型のR1100。純正のような佇まいのウォルターウルフカラーは実はIの限定仕様のみで、解る人には堪らない通好みのカスタム。



問い合わせ: ダイナオガレージファクトリー
TEL. 0538-55-6655

営業時間: 9:00~18:00 定休日: 土曜日・日曜日・祝日
〒437-1203 磐田市福田3101-1

<http://dainao.net>

とを真剣に考えたガレージだから、出来上がった時には心から感謝され、完成を喜ぶ笑顔は本物だ。

好きだから、スタイルは進化を続ける

最近の自慢はSUNOCOオイルとコロボレシオンした最終型パブリカピックアップ。フルカスタムしたGM C-10とともに、走りに行くのが楽しみで堪らないという。「C-10は結構気をつかう車。チューニングしたエンジンはパワーが強烈。ちょっと踏んだだけでリアが滑り出す。もう少しミッションを詰めたところだね。パブリカは絶妙なサイズ感で、大阪へ出かけた時もスイスイと走って気持ち良かったよ。」走りとともに見た目にもこだわるのが大石さんのスタイル。娘さんのために作ったキッチンカーも使い勝手だけでなく、アメリカンテイスト溢れる内装で、まるで本場のダイナーにいた気分にはさせる。「ガレージは夢の空間だから、使い勝手がいいのももちろんだけど、機能だけじゃなく、見た目の格好良さも追求するのが僕のスタイル。これからは、魅せるガレージを作り続けたい」バイク車ガレージのことを話し出すと、終わりが尽きない。好きなことを追求する大石さんのガレージスタイルにゴールはないだろう。進化した新たなガレージの誕生が大いに楽しみだ。

ガレージのメリットを最大限に活用した、ベストなスタイル。

Enshu
Siast's
Choice!

ダイナオ ガレージ ファクトリー【磐田市】代表 大石博和

ガレージへのただならぬこだわり

大石さんが手がけるオーダーメイドガレージは、ユーザーへのヒアリングが何より大事だと語る。ガレージに入れるバイクや車はもちろん、バイク歴や好きなライフスタイル、家族構成、設置場所など、一人て違う理想の空間を作り上げるために綿密に打合せする。その上で、実際の使いやすさを考えて的確なアドバイスを行う。「僕は自分がバイクや車に乗るのが大好き。だからお客さんと同じ目線で、その人に合ったガレージを提案します。憧れのガレージを思いっきり楽しんで欲しいから、細かい部分まで使い勝手の良さを追求します。」バイクを出し入れするちょっとした段差などベテランなら気にならないところも、ビギナーは不安に感じる。オーナーのこ

時代が求める理想のガレージ空間

レーシングスタンドにセットされたウォルターウルフカラーのGSXR1100。壁にはレザーシートとレプリカヘルメットが飾られる。憧れのライダーのパネルやツールボックスに飾られたアメリカンキャラクターの数々、レーシングチェアに身を委ねながら、気になるYouTube動画をチェックする。ハイレイ乗りには絶大な支持を受けるダイナオガレージ代表の大石さん。ここは新しく提案するスポーツバイクを愛するオーナーのための夢空間。「実はウォルターウルフはI(ガンマ)しか出ていなかったから、敢えてそのカラーリングにしたんだよ。」アメリカンスタイルの第一人者として知られる大石さんだが、若い頃はIやRZで峠の走りを楽しんでいた。以前よりGSXRを探していたところ、程度の良い個体が見つかり、その購入を機に今回のガレージスタイルを作り上げた。レーシーなイメージの強いガレージだが、同時に今の時代にあっただけのコンセプトを具現化している。ポイント

Right Place, Right Time.

YES, IT'S MY LIFE!



バイク・クルマ・キャンプ・多肉植物…、多彩な趣味を持つ黒田さんが、それ以上に愛する家族・仲間との時間を大切に想う。まさに理想のダッドスタイルだ。

KURODA'S COLLECTION



IRON PLATE S/M サイズ

簡単に美味しい肉が焼けると好評のIRON PLATE、気軽に持ち運べるS/Mサイズが誕生。Sサイズ7インチ。Mサイズ7.5インチ。



1990 GMC サバーバン

キャンピングトレーラーと抜群の相性を見せる7代目サバーバン。トルクフルなエンジンは大型トレーラーも余裕で牽引する。



1970 プリムス・バラクーダ

アメ車好きな黒田さんがこよなく愛する1台。お子さんを乗せて御前崎へ走るといった普段使いができるクルマが黒田流。



Enshu
Sia's
Choice!

家族と、仲間と。いつでもTAKE IT

EASYなダッドスタイル。

アイアンクラフト【菊川市】代表 黒田憲一



問い合わせ：IRON CRAFT／アイアンクラフト

TEL. 0537-26-9900

営業時間：9:00~16:00 定休日：土曜日・日曜日・祝日

〒439-0037 菊川市西方5380-1

<https://ironcraft.web.fc2.com>

好きなものだから大切に思う

自分の趣味と同じように黒田さんが大切にしているもの。それは家族や友人との時間。趣味のアメ車も休みの日にはお子さんを乗せて、近場をドライブすることが多いという。自分だけで趣味を楽しむのではなく、家族と一緒に趣味を楽しむのが黒田流。この日は、小学校に通うお子さんの同級生家族と事務所の庭でBBQが行われていた。会場はアイアンクラフトの工房兼ショールームでもある古民家をリノベーションしたアイアンベース。アメリカ製の大きなキャンピングトレーラーとGMCサバーバンの組み合わせもアウトドア気分を高める。「以前キャンピングカーイベントに出展した時に美車を見てこれで家族とキャンプに行ったら楽しいだろうな」と思ったのがきっかけ。まだ手に入れたばかりでこれでキャンプに行けてないから、早く家族と行きたいんだよね。」廃炉となった工場の耐火レンガを積み上げて作った自家製グリル。そこでBBQの準備をしながら、家族とのキャンプ計画を語る黒田さんの表情が自然とはころんでくる。自然体で趣味の世界を楽しみながら、家族や仲間への気配りも忘れない黒田さんの周りには、たくさん笑顔があふれていた。

男の憧れる秘密基地を形に

このスペース、元々は車庫として建てたので屋根がなかったところ。そこに壁を立てて床と天井を張り、扉を付けて作り上げたプライベートな空間。事務所や倉庫建設、土木工事を本業に起業し、自動車カスタムやアウトドアグッズなど幅広く事業展開する黒田さんにとって、頭の中にある秘密基地を形にするのは造作もないことだった。簡単な図面を引くと、あとは手近な材料を揃え、気心の知れた仲間たちと瞬間に居心地の良い空間に仕立て上げた。「男って、こんな秘密基地があったらいいなって絶対考えるでしょう。僕に相談してくれば、好みに合わせてすぐに作りますよ。」と気軽に相談して欲しいという。趣味部屋づくりを夢みる人にはモデルルームとして見てもらい、様々な趣味に精通する黒田さんと話し合って作る過程はきっと楽しいことだろう。

アイデアとセンスで彩られた趣味空間

正面の壁には80年代のコンポーステレオを中心に、レコードやAGVのヴィンテージヘルメットシルキーベネットバイクの数が並ぶ。ラック前に置かれたGS400の赤いタンクがライトに照らされる。テーブル上には葉巻のシガーボックス。無垢の鉄板を張った壁にはホットウイールのコレクション。その傍らに年代物のグレコスのSGとレスポールが鎮座する。鉄素材にこだわったアウトドア用品のガレージブランドアイアンクラフト代表の黒田さん。ここは自宅横の屋根付きガレージを改造した秘密の小屋屋だ。仕事が終わったあと、自分だけのリラクゼーション時間。この秘密基地で、お気に入りの音楽をかけながら葉巻を楽しむ、模型づくりやバイクの整備をしつつ、次の構想を練るのが至福の時だと語る。「この部屋に呼ぶのは友達や昔からの仲間たちだけ。家族も下の子とも以外は減多に入ってこない。自分の好きなものに囲まれて、好きなことをただ楽しむ空間かな。」

実はオーディオやギターは建物解体の現場で見つけたものの。解体の仕事で処分を依頼された際、自分の欲しいものだけを手元に残してきた。新品では手に入らない使い込まれたものの価値との偶然の出会い、そして黒田さんのセンスが、唯一無二の心地よさを醸し出している。

HAGGY'S COLLECTION



1996 NISSAN CEDRIC WAGON Y30

現在の愛車であるY30。CEDRIC愛からオリジナルキャラクターの名前も「RIC」と名付けた。もう一台同型のY30をレストア中。



2009 TOYOTA HIACE WIDE BODY

ヘッドライトを愛嬌のある丸目に換装され、サイドのウッド調の大判ステッカーはSTOCK Garageオリジナル商品。



NIKE Air Jordan

バスケット部であったこともあり大のJordanファン。手の届く範囲で集めたコレクションの中には海外でしか手に入らないレア物も。

整備工場のロフト部分の工房。ここで作られたグッズは事務所内の販売コーナーに並べられている。STOCK garden店舗にはレアな品種が並ぶ。



HAGGYこと萩原さんの仕事の場であり、夢が詰め込まれた場所であるガレージ。

Enshu
Siast's
Choice!

仕事に流されない！自ら流れを作って 仕事にしていくなのがHAGGY流。

STOCK'S COMPANY 〔浜松市〕代表 萩原優樹

気軽にHAGGYと呼んでくれ！

「HAGGY」は自動車の販売・修理のSTOCK Garage、オリジナルグッズ制作販売のSTOCK GIFT、南国観葉植物の販売・レンタルのSTOCK Gardenを運営するSTOCK'S COMPANY代表の萩原さんの愛称だ。

「スタートは車の整備士、でも自分が夢中になれること、好きなことを仕事に繋げ続けてたら、なんか手広くやってる風になっちゃいました」と笑う。仕事の合間に愛してやまない日産セドリックワゴンのレストアをしたり、バイクの修理をしたり、活動の拠点となるこのガレージは、HAGGYの「秘密じやない基地」だ。

「新しすぎず、古すぎない」が
HAGGY流。

STOCK Garage社屋の外観は南国の観葉植物やオリジナルのサインボードで飾られ、事務所内にはフレクランスやオリジナルグッズの販売コーナーがある。整備工場内に増設されたロフト部分は、オリジナルグッズ制作の工房とソファが置かれたHAGGYのくつろぎスペースになっている。

オリジナルキャラクター「RICくん」や、ちょんまげをモチーフにしたマークをあしらったマグカップやステッカー、Tシャツなどはこの工房で制作される。デザインやアイデアの持ち込みで、自分だけのオーダー品、贈り物用の各種グッズの制作の希望にも相談に乗ってくれる。

工房で生み出されるグッズと、「MOONLESS」の正規代理店として扱うグッズ、そのほかHAGGYの目になった品揃えで、近日常に1階にショップスペースを増設する予定だ。また、若い世代にもっと車の面白さを知ってもらうために、個性にあふれていた80年代、90年代の新しすぎず古すぎない車を集めてレンタカーサービスを計画中。

揺れる葉っぱに南国を思う。

ソテツやヤシに始まって、南国の植物に興味を持ちついに「シェン「STOCK Garden」を開くまでに。「単に観葉植物というのではなく、個性的な南国の植物のスタイルに惚れました」というだけに、ショップには他ではなかなかお目にかかれないレアな品種が並ぶ。

塗料を扱う知人とのコラボで、空気清浄効果のある塗料を塗った鉢とエポキシ樹脂を組み合わせて、電気や機械のいらない空気清浄機としてレンタルする活動も模索中だ。グッズ、南国の観葉植物のネット通販のサイトも構築中。楽しみながらYouTubeでの動画配信をするなど、ウェブ上でもSTOCK'S WORLDを拡大中だ。

持ち前の明るさで、周りも巻き込んで元気にするようなハワイを持つ萩原さん。興味の先にはいつも仲間や家族が笑って暮らし、働き、楽しめる世界が見えているようだ。



お問い合わせ：株式会社STOCK'S

STOCK Garage / GIFT
TEL. 053-570-5827

〒431-3114 浜松市東区積志町1164-2

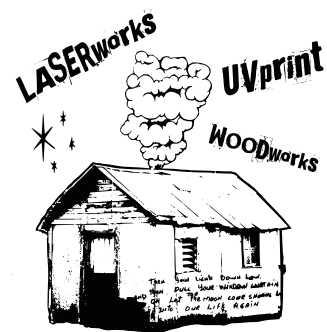
STOCK garden
TEL. 080-7263-5090

〒433-8114 浜松市中区葵東1-8-17

YouTube



STOCK'S CHANNEL



ざいまかなきぶん
"XAYMACA FEEUING"

Enthusiast Recommend Shop

ざいまかなきぶんなら、 例えばこんなモノも できちゃいます!

ステッカーやTシャツの制作はもちろん、さまざまな素材へのプリントや加工が可能です。用途や制作したい物に合わせ、どんな方法がベストなのか、お客様と一緒に考え、ご提案します。
世界に一つだけの物から、仲間と揃えたい物まで、なんでもご相談ください!



ざいまかなきぶん 運営:株式会社リレイズ
〒430-0906
静岡県浜松市中区住吉4丁目15-7
Tel: 053-416-4155
Fax: 053-416-4156
Mail: info@reraise-works.com
Web: www.reraise-works.com



Instagram



GSX250R オーナーズクラブ代表
細井稔生さん
同じバイクに乗る者同士って不思議な連帯感がありますよね。それを表現できるようなオリジナルグッズを前から作ってみたいかったです。いろいろ相談に乗ってもらって納得のグッズができて大満足です!



GSX250R オーナーズクラブ
さぶちゃんさん (デザイン担当)
自分の考えたデザインが、カタチになって仲間と共有できるのは嬉しいですね! 思った以上の展開と仕上がりに感激です!



同じ車種でありながら5者5様のそれぞれ個性的なカスタムが施されたSUZUKI GSX250R。グッズの納品に合わせて集結。



▲アクリル板に写真をプリントして作られたカレンダー



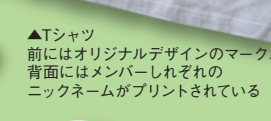
▲スマホカバー



▲ペンケース



▲ソフトコインケース



▲Tシャツ
前にはオリジナルデザインのマーク、背面にはメンバーそれぞれのニックネームがプリントされている



▲キーホルダー



▲ステッカーは耐候性が高いので屋外もOK

完成まで私がばっちりサポートします! お気軽にご相談ください!



ざいまかなきぶん
グッズ制作担当
磯田 葉子



GSX250Rオーナーズクラブ・グッズ制作記

オーナーズクラブの細井さんが作りたいのは、オリジナルステッカーとTシャツ。そのほかにもどんなものができるのか相談しよう、メンバーとざいまかなきぶん(以下ざいまか)へ。
さまざまなサンプルを見せてもらい「こういうのも作れるんだ!」「あんなものもこんなものも欲しい!」とメンバーは大盛り上がり。コインケースやスマホカバーなど思いもよらなかったものも作れると聞いて夢がふくらむ。
まずはグッズに入れる絵柄を検討することに。京都在住のクラブのデザイン担当さぶちゃんが制作したデータを、ざいまかとも共有して、データの作り込み方を含めて相談を重ねていった。
Tシャツは今回シンプルにデザインに決定。胸に共通のデザイン、背面にメンバーのニックネームを個別にプリントしてもらうことにした。Tシャツに直接プリントできるからこその対応だ。ステッカーもいくつか挙げた候補の中から3種類を制作。耐候性が高いからバイクやヘルメットに貼っても色あせの心配は無い。
そのほかにも、今後の検討材料として、さまざまなアイテムを特別に制作してもらうことになった。
完成の連絡を受け、再びメンバーとざいまかへ。早速Tシャツに袖を通して記念撮影大会。自分たちだけのオリジナルグッズの数々に大満足だ。ざいまかのスタッフもバイク好きだけに、「こんなのあると嬉しいよね」としっかりとリッポを押さえて提案してくれる。さて、次は何を作ろうか。



私がお希望を
うかがいます!

ざいまかなきぶん/代表
金城 敦子

オリジナルグッズの制作なら
「ざいまかなきぶん」におまかせ!

Enthusiast Recommend Shop

「ざいまかなきぶん」は、UVプリント、レーザー加工、カッティングプロッターなどで、好きな画像、写真、デザインからステッカーやTシャツといったオリジナルグッズが作れるモノづくり工房だ。今回、GSX250Rオーナーズクラブの代表・細井さんが「クラブのオリジナルグッズを作りたい!」と相談。打ち合わせを重ね、納得の逸品が完成した。

1960年代をコンセプトにしたアメリカンダイナー

HiroAina

浜松市

Toutoumi Burger

キッチンカーでイベントや要請のあった店頭でバーガーを販売するスタイルのヒロアينا。今回1営業日につき5食限定でスペシャルなメニューを作ってくれました。こだわりのパンズに自家製ガーリックオイルで揚げ焼きしたサクッとした食感の磐田の海老芋、知る人ぞ知る天竜・峯野牛を使った贅沢なパティ、モッツアレラチーズ、特製ベーコンをはさみ、タルタル+うまいら味噌のソースで仕上げた逸品を食材で一周するという逸品。
■キッチンカーでの移動販売
Mail : takayukikitazaki@yahoo.co.jp
Instagram : hiroaina_burgerstand

2020年12月まで

「エンシュージアスト見たよ」で
Toutoumi Burger
ご注文の方に
ポテトフライ
サービス!

キッチンカーで駆けつける移動バーガースタンド

MAX'S DINER

掛川市

ボストンチーズバーガー

旧き良きアメリカがテーマの掛川 U.S.A. Village。敷地内のMAX'S DINERではハンバーガーのパンズは毎日焼き立て!さらにパティもソースも全て自社仕込みの拘りバーガー!まるでL.A.を旅行してるかのような店内で、大満足なハンバーガーをご堪能ください。
■掛川市領家529-1
TEL: 0537-64-6003
営業時間 平日 11:00~15:00 (LO 14:30)
17:00~21:00 (LO 20:30)
土・日曜日 11:00~21:00 (LO 20:30)
定休日 毎週木曜日

2020年12月まで

「エンシュージアスト見たよ」で
ボストンチーズバーガー
ご注文の方に
ポテトフライ
サービス!

グラニーズバーガー

浜松市北区

三ヶ日牛バーガー

天浜線「三ヶ日駅」駅舎内にある、グラニーズバーガー。農業を営むオーナーが、ていねいに作る、自家菜園で採れたフレッシュ野菜、三ヶ日牛100%のパティ、エッグ、チーズなど何層もの具材を重ねたボリュームたっぷりのバーガー。三ヶ日みかんサイダーとの組み合わせが人気。売り切れ次第終了なので予約して行くのがおすすめ。
■浜松市北区三ヶ日町三ヶ日1148-3
TEL: 053-525-2202
営業時間 11:00~15:00 売り切れ次第終了
※土・日・祝日のみの営業

2020年12月まで

「エンシュージアスト見たよ」で
ハンバーガー
ご注文の方に
ポテトフライ
サービス!

遠州名物・これが元祖三ヶ日牛バーガー!

Rise Burger

掛川市

ケバブバーガー

今回の企画に合わせて考え出された限定メニュー「ケバブバーガー」。山盛りのキャベツ、オニオン、トマトに隠れてハラペーニョの酢漬がピリリと味を引き締める。自慢の100%ビーフのパティと新作ソースとの組み合わせも最高。
■掛川市南1丁目6-11
TEL: 0537-29-6613
営業時間 11:00~15:00、18:00~22:00
(火曜日は夜営業なし)
定休日 水曜日

2020年12月まで

「エンシュージアスト見たよ」で
ケバブバーガー
ご注文の方に
ポテトフライ
サービス!

休日にはバイカーや車好きで賑わう人気店

Enshu Siast LOVES Hamburger!

刺激的な辛さと、遠州のうま味が凝縮した
エンシュージアストオリジナルバーガー誕生!

オーダーで
作ってもらっている
GS専用パンズ

厳選の厚切りベーコン
(5mm)

今は無き人気店
「バーガーダイヤモンド」の
製法を受け継いだ
パティとオーロラソース

GS BURGER

浜松市南区

特製エンシュージアスト バーガー

雄踏町の農家の納屋で見つかった唐辛子の種を育てたところ、鷹の爪の4倍の辛さ、トマト並みの糖度(11度)を持つ唐辛子ができた。うなぎの稚魚にそっくりな形から「※めっこ唐辛子」と名付けられ、新たな遠州の名産品になりそうなる唐辛子。その塩漬を使った刺激的な辛さがポイントのバーガーが今回登場のエンシュージアストバーガーです。辛いもの好きの方はダブルめっこ(+100円)、トリプルめっこ(+200円)と唐辛子の増量が可能です。
※めっことは養鰯が盛んだった雄踏町の方言ううなぎの稚魚の呼称
■浜松市南区御本町28 GSビル1F
TEL: 090-8544-5356
営業時間 11:00~18:00
定休日 毎週木曜日

2020年12月まで

「エンシュージアスト見たよ」で
¥1,000
のところ
¥900!

このバーガーの
ポイント!
めっこ唐辛子の塩漬け

辛さにぶつける甘さ・
フレッシュパイン

レッドチェダーチーズ

トマト&レタス

安定した美味しさのために、
産地にこだわらず、
その都度仕入れられる新鮮で
美味しい野菜を使うという
こだわらないこだわり

TAKE THE *Emajor!!*
Eメジャーで行こう!

「Eメジャーで行こう!」で 伝えたいこと

浜松の路上が原点。そこから音楽やるなら中央だろうと、浜松を出て東京に住みながら都内で自らのライブイベントを主催したり、ライブハウスを回ったりしてました。ちょっと前までバイトしながらだったから、あんまり遠くへ行ったり、長い旅には出られなかったんだけど、やっぱりエージさんのようにいろいろな土地に行って唄ってみたくて、音楽一本でやっていこうと決めた5年前くらいからひとりで長いツアーをするようになったんです。そうすると、別に東京に住んでなくてもいいかって感じになって、7年やって来たピアノと組んでたユニットの解散を機に年ぶりに拠点を浜松に戻すことにしました。

これまでも浜松でライブは年に何度もやってきたけど、より濃くて、面白いライブをやって、浜松を盛り上げたいって思ってます。

すでに月一で「交差点」をテーマにライブを企画してます。全国を回る中で知り合った、各地の実力派のミュージシャンと、浜松で頑張ってる仲間をブックイングしたライブです。そこでお客さんも巻き込んで、お互いの音楽や気持ちが交差して活動の場や表現が広がればいいと思うし、気軽に溜まり場みたいに浜松に寄ってもらえるような雰囲気を作りたいんですよね。

この前も宇都宮のミュージシャンを招いて、「GYOZA WORLD」って振舞い餃子付きのライブやりました。二日後には俺が宇都宮に行くとい気軽に溜まり場みたいに浜松に寄ってもらえるような雰囲気を作りたいんですよね。



<https://e-major.jp>

エンシュージャストの助っ人スタッフ。その働きぶりから「金のサハラ」の異名を持つ。

エンシュージャストの助っ人スタッフ。その働きぶりから「金のサハラ」の異名を持つ。



浜松歌唄い交差点化計画



PROFILE

聞間 拓 (ききまたく) 静岡県浜松市出身。浜松の路上で歌い手として産声をあげ、全国路上LIVE放浪後、FMでのラジオパーソナリティを経て上京。ソロ、ユニットに関わらず、圧倒的な熱量で、見る人のライブ観、人生観をも揺さぶるスタイルとして、インディーズライブシーンで注目されている。
<http://kikimataku.com/>

浜松の路上が原点。そこから音楽やるなら中央だろうと、浜松を出て東京に住みながら都内で自らのライブイベントを主催したり、ライブハウスを回ったりしてました。ちょっと前までバイトしながらだったから、あんまり遠くへ行ったり、長い旅には出られなかったんだけど、やっぱりエージさんのようにいろんな土地に行つて唄ってみたくて、音楽一本でやっていこうと決めた5年前くらいからひとりで長いツアーをするようになったんです。そうすると、別に東京に住んでなくてもいいかなって感じになって、7年やって来たピアノと組んでたユニットの解散を機に年ぶりに拠点を浜松に戻すことにしました。

これまでも浜松でライブは年に何度もやってきたけど、より濃くて、面白いライブをやって、浜松を盛り上げたいって思ってます。

すでに月一で「交差点」をテーマにライブを企画してます。全国を回る中で知り合った、各地の実力派のミュージシャンと、浜松で頑張ってる仲間をブックイングしたライブです。そこでお客さんも巻き込んで、お互いの音楽や気持ちの交差して活動の場や表現が広がればいいと思うし、気軽に溜まり場みたいに浜松に寄ってもらえるような雰囲気を作りたいんですよね。

この前も宇都宮のミュージシャンを招いて、「GYOZA WORLD」って振舞い餃子付きのライブやりました。二日後には俺が宇都宮に行くとい

う餃子の街対決ライブ(笑)。

あと、タマキングって仲間とツーマンでやってるイベントで「タマタタ 47都道府県横断ダーツの旅!」と銘打って、ステージ上でルーレットにダーツ投げて、すごいランダムに決められた順番で全国をまわるという無謀なツアーをこの秋やります。いろんな人から「バカだね、でも拓たちがやりたいならやってみればいい」という素晴らしいエールをいただいています(笑)。

これからもどんな外にも出ていきますが、浜松に帰って来たからには「浜松らしい」、「浜松だからできること」それってどんなことだろうと考えながら、参加してくれたみんなが楽しめる企画や、熱い音楽を届けていきたいと思っています。浜松に帰って来たからには「浜松らしい」、「参加してくれたみんなが楽しめる企画や熱い音楽を届けていきたいと思っています」。

ドライブInnライブ

ドライブインライブって何?
浜松から世界に向けて発信

エージさん、拓君の浜名湖ライブには必ず参戦しています。そこで浜松のみならず、関東や関西、北陸から集まってくるファンのみんなと仲良くなれたり、熱いライブも打ち上げも毎回楽しみます。さてさて、もう一人、私がぜひ紹介したいミュージシャンが山作戦さん。熊本出身で、今は蒲原に住まわれて全国でライブをされています。去年、ゲストでいらしたった浜名湖WATTSで、その風貌と歌声に「一気に気持ちを掴まれました。私、第一印象や曲を聞く前でもインスピレーションで「あ、この人の唄はきつと好き」というのを感じてしまふんですが、まさにそんな出会いでした。ハイトーンの澄んだ歌声と、やや哀しめの曲が多いんですが、染みるんです。そして参るんです。

この春には静岡のグランシップで「春のセンまつり」という千人規模のライブを成功させました(もちろん私も行きまし)。遠州からは少し東の方ですが、これからは遠州地区でのライブを積極的にやってくださるそうです。来年の春にもグランシップで「千人ライブ」開催決定とのことなので、浜松からも仲間を集めてみんなで応援に行きたいです。

エージさん、拓君の浜名湖ライブには必ず参戦しています。そこで浜松のみならず、関東や関西、北陸から集まってくるファンのみんなと仲良くなれたり、熱いライブも打ち上げも毎回楽しみます。さてさて、もう一人、私がぜひ紹介したいミュージシャンが山作戦さん。熊本出身で、今は蒲原に住まわれて全国でライブをされています。去年、ゲストでいらしたった浜名湖WATTSで、その風貌と歌声に「一気に気持ちを掴まれました。私、第一印象や曲を聞く前でもインスピレーションで「あ、この人の唄はきつと好き」というのを感じてしまふんですが、まさにそんな出会いでした。ハイトーンの澄んだ歌声と、やや哀しめの曲が多いんですが、染みるんです。そして参るんです。

さてさて、もう一人、私がぜひ紹介したいミュージシャンが山作戦さん。熊本出身で、今は蒲原に住まわれて全国でライブをされています。去年、ゲストでいらしたった浜名湖WATTSで、その風貌と歌声に「一気に気持ちを掴まれました。私、第一印象や曲を聞く前でもインスピレーションで「あ、この人の唄はきつと好き」というのを感じてしまふんですが、まさにそんな出会いでした。ハイトーンの澄んだ歌声と、やや哀しめの曲が多いんですが、染みるんです。そして参るんです。



ぜひ一度
会場の雰囲気と
音を動画で
ご覧ください!

YouTube



次回ドライブインライブは

https://www.youtube.com/channel/UCjr9eyfaY_Kl6sjFb-nwzKg

スズキ歴史館 SUZUKI PLAZA

スズキは1920年に織機メーカーとして設立して以来、今年で100周年を迎えました。“ものづくり”に情熱を注ぎ、現在では二輪車、四輪車、船外機などさまざまな製品を生産・販売しています。スズキ歴史館では、時代とともに歩んできた多くの製品と現在のクルマづくりの様子を見学することができます。



3F「ものづくりの歴史」では鈴木式織機から最新の技術まで、往年の名車たちとともに時代を追って紹介されています。



2F「現在のクルマづくり」では開発、生産などの現場を再現。我々が遠州の紹介ブースもあります。



スズキ歴史館 SUZUKI PLAZA

所在地 浜松市南区増楽町1301
開館時間 9:00~16:30 (16:30閉館)
休館日 月曜日、年末年始、夏期休暇等
入館料 無料
見学形態 自由見学
入館方法 予約制(電話またはインターネットよりご予約ください)
お問合せ 053-440-2020
予約URL <https://www.suzuki-rekishikan.jp/reserve/>

スズキ初の普通乗用車 フロンテ800

バイクや自動車の貴重な展示がたくさん！

デザインや先進性が現在の車に受け継がれているのわかるね！

何が見えるのかな？

このフロアだけでも一日居られるな...

2階フロアでは自動車の企画・デザインから製造までの過程がわかりやすく展示されている。

こんなところにもサブライズが！来場の際はぜひチェックを！

遠州の「ものづくり」を支えた偉人たち The great men underpinning Enshu "Monozukuri"

遠州のこともものづくりについて楽しく学べるね！

今いるのはこの辺りかな？

企業ミュージアムへ行こう！

＜あや子先生と学ぶ遠州ものづくりの歴史＞

● スズキ歴史館 ● ヤマハバージョンロード ● ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ

生徒・しくん

へー、
そうなんだ。

遠州にはこの地が創業の場所となった世界的企業が運営するミュージアムがある。いずれも貴重な資料や展示を無料で見学が可能だ(予約が必要な場合あり)。遠州ものづくりの歴史を学ぶなら行かない手はない！

繊維から始まって、バイク、自動車、楽器など、この遠州地方は日本のものづくりの歴史を語る上で重要な地域なんです。

あやこ先生

スズキ歴史館

スズキ初の軽自動車 スズライト



ようし！
企業ミュージアム
巡りに出発よっ！

ハイッ
先生！



うわっ動いたっ！
ガジャンガジャン



スズキの歴史は織機から始まったの。格子柄の織れる織機は画期的だったのよ。

歴史館の名の通り、織機からはじまり現在の車の製造ラインの説明までわかりやすく展示されています。



順路は階段を登って3階からね！



当時の再現映像や、動きがあったり体験型の展示が多くて楽しいわね。

スズキ初の二輪車 パワーフリー号

INNOVATION ROAD

ヤマハ企業ミュージアム

ヤマハは1887年の創業以来、現在にいたる長い歴史の中で常に新たな挑戦を重ねてきました。

イノベーションロードとは、こうした挑戦の歴史の足跡と、これから未来に向かって歩み続けるヤマハの“道のり”をシンボライズしています。



コンセプトステージでは音・音楽を愉しむ新しいカタチやコンセプトを提案しています。



ヒストリーウォークでは、ヤマハ歴代の製品が長大な壁面やフロアに一堂に展示されています。



音声ガイドで製品や展示のポイントを解説してくれます。



入館者数の制限を行っておりますので、必ず事前にご予約をお願いします。

所在地 浜松市中区中沢町10-1

予約期間 1ヵ月(31日) 先まで

見学時間 当面の間、1日3回、以下の時間帯のご予約を承ります。

①9:30~11:30

②12:00~14:00

③14:30~16:30

※お1人1日1回(2時間)まで

受付人数 各回20名まで

見学形態 自由見学

入館料 無料

お問合せ 053-460-2010

予約URL <https://yamahamuseum.resv.jp>



凄い臨場感だね！

108.6ch
スーパーサラウンドシアター

音のシャワーに包まれてみたいね
ワイドスクリーンの映像も幻想的…

INNOVATION ROAD MAP

新しい感動の地図をつくろう。

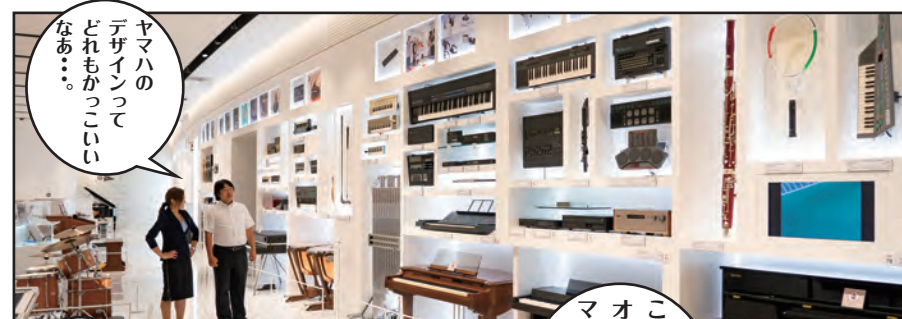
素材や技術のつながりをイラストで理解できる創造の絵巻物語ね！



男子って
こういうの
ホント好きよね！



プロやマニアを
唸らすヤマハの
音響技術を体験
できるのよ。



ヤマハの
デザインって
どれもかっこいい
なあ…



こうなると、
もう一つのヤマハ、
ヤマハ発動機のことも
知りたくなるね。

でしょ？

これは創業当時の
オルガンなんだけど
マークをよく見て。



それ

では

行って

みよう

あれ？何か違う…
ヤマ○になってる！
これは現物を
確認して欲しいね！

ヤマハイノベーションロード



「これはヤマハの現在と未来への挑戦を、
「見て」「聴いて」「触れて」体験できる」場。



YAMAHA

INNOVATION
ROAD

ヤマハは
世界一の
楽器メーカー
なのよ！



うん…
気分は大ホール
でのリサイタル
だね。



コンサートホール
にしか無いようなピアノ
や最新のギターも試奏できるの。
他にも金管・木管・弦・打楽器
などヤマハブランドの
幅広さがわかるわね。



CRAFTSMANSHIP
WALK
ものづくりウォーク

感動を、かたちにしよう。

もっといい音に、もっと美しく、
「物」として、楽器の美しさを切り取る。
そのためには、楽器を壊さず、その心をつかむことが必要です。
より多くの人の心を動かすために、
ヤマハの「ものづくり」の心を大切にしたい。

ピアノや管楽器の
さまざまな素材や
加工についてと
製造工程がわかる
展示だね！

モノづくり
については
こちらで勉強
できるのよ。



なんか
似合うわね



さまざまな楽器が並んで壮観！プロミュージシャン気分で写真が撮れる、SNS映える撮影ポイントも随所にあり！

コミュニケーション プラザ ヤマハ発動機

コミュニケーションプラザは「過去・現在・未来」と「コミュニケーション」をキーワードにヤマハ発動機とその製品を紹介する企業ミュージアムです。世界で使われているさまざまな分野の製品やエポックメイキングな歴史製品の数々、そしてヤマハ発動機の最新技術や活動、情報が集約されています。



世界で活躍したレースマシンをサーキットのスタートライン風に展示。今にも動き出しそう。



モーターサイクルだけでなく、多岐にわたるヤマハ発動機製品も数多く展示されています。



ライブラリーコーナーではヤマハ発動機の過去の発行物やアーカイブを楽しむことができます。



所在地 磐田市新貝2500
入館料 無料
見学形態 自由見学
開館時間・休館日・最新情報についてはホームページを確認。
お問合せ 0538-33-2520
予約URL <https://global.yamaha-motor.com/jp/showroom/cp/>



ヤマハの鋳造技術「技術」展示



学びの日々は続く...

ヤマハ発動機コミュニケーションプラザ



Ténéré700 2020モデル



GO GO!! YAMAHA RUGBY
トップリーグ・ジュビロ磐田の選手がお出迎え





服部賜郎 Shiro Hattori

1972年生まれ、磐田市出身。10代からバイクにはまり、「乗る、イじる、見る、調べる」全てが好きなバイクマニア。NASCAR・スタートレックといったアメリカンカルチャーにも精通。オグショーでは営業担当として、バイク仕様だけでなく様々なトランポを担当する「頼れる兄貴」的存在。本誌編集長のトランポも服部さんが担当だった。現在の愛車はXLR-BAJA、SNAKE MOTORS K-16、他レーサー多数。



オーストラリアの赤土の大地を土煙を上げて疾走する小栗さん。日本ではなかなか味わえないスケール感が海外ラリーの醍醐味だ。

オフロードとの 衝撃的な出会い

服部さんがバイクに興味を持ったのは小学校高学年。幼馴染がC.R.80でモトクロスをやっていた。場所は天竜川の河川敷。ふだん一緒に遊んでいた友だちがヘルメットを被り、ブーツやモトパンを履いてバイクで走っていた。その姿と音に驚いた。家へ遊びに行くとスーパークロス(※)のビデオを見せてもらい、さらに衝撃を受けた。「バイクが空を飛んでいる！すごい、何だこの人たちは」その頃知っていたバイクと言えは近所のおじさんが乗るカブくらい。それが自由自在に空を飛び、スタジアムが大歓声で震えている。その世界に度肝を抜かれた。中学生になるとショップが主催するエンデューロレースに出場した。草レースが盛んで、イベントが毎週のように開かれていた時代。ウェアもバイクも借り物で、稲刈り後の田んぼに水をまいたコースをドロドロになって走った。レース結果は散々で「バイクって難しい」と素直に思った。



レインボー浜名湖のバイクスクールを体験する服部さん。バイクに乗ると心は少年時代に戻ってしまう。

バイクが教えてくれた 走る楽しさと自然の雄大さ

土煙をあげて疾走するモトクロス。大海原で波と格闘するサーフィン。遙か山頂に向かって一心にペダルを漕ぐロードバイク。自然の中で夢中になって遊ぶアウトドアスポーツの爽快感。そこには専用のマシンやギアが欠かせない。アウトドアスポーツを愛する熱中人から絶大な支持を受けるトランスポーター専門店オグショー。さまざまなバイクに精通し、海外での経験も持つスタッフの服部さんに、今回はオフロードバイクの魅力を中心に語ってもらった。

オフロードの 真の魅力に目覚める

北海道ではいろんな世代のライダーと話をした。それまでバイクの話は身近な先輩や友人たちとだけ。それが親子とも歳の違うベテランライダーが語る経験談を聞いて、自分の世界がぐんと広がった。北海道から帰ると、初めて地元の林道を走ってみた。尾根伝いにバイクを走らせると、次から次に知らない道が続いている。調べてみると実は遠州が林道の宝庫であることに気がついた。まだスーパー林道が全線舗装されていなかった時代。至るところにオフロードが広がっていた。その後セローを手に入れ、整備された道だけでなく、横道にそれて廃道寸前の道をどこまで行けるか試したりもした。スポーツバイクではスピードを上げて走ることが楽しかったが、オフロードではゆっくりトコトコと周りの自然も楽しみながら走る面白さに気付かされた。真にオフロードの楽しさに目覚めたのだ。

「乗って楽しむ」から 「どう楽しませるか」へ

当時バイクの情報は雑誌が中心。月末になるとバイク雑誌やビデオを買い漁り、本代が2万円を超えることもあった。オンオフからレースハレーまで、あらゆるジャンルが気になった。「外ではバイクで走って、家では雑誌とビデオ、頭の中はバイクのことだけ、とにかくバイクマニアだったなあ」中でもスーパークロスのジェレミー・マクグラスがヒーローで、本場のレースを観たくてたまらなくなつた。新婚旅行で初めて飛行機に乗り、デイトナバイクウィークに行った。憧れのデイトナはバイクにあふれ、文字通りバイク一色。ツアーで行ったデイトナのバンクは立っていられないほど急な角度。生で観るスーパークロスに大興奮。トップライダーが次々披露するトリックジャンプに大観衆とともに熱狂した。夢にまで観た世界がそこにあった。「アメリカのバイクシーンは、お客さんをいかに楽しませるかを考えた超一流のエンターテインメント。ここでバイクに関わる仕事かしたい」と思うようになった。帰国後も熱は冷めず、時を待たずに家族とともにアメリカに渡った。拠点にしたカリフォルニアでは毎週レースが行われていた。スーパークロス以外にもナショナルMX(※)やダートトラック、オンロードのスーパーバイクなど、様々なジャンルを楽しんだ。車のレースも盛んだった。CARTやNASCARは雰囲気づくりを含め、観客にとっても楽しんでもらうかというアイデアやホスピタリティに感心した。自分が乗って楽しむことから、人を楽しませることがに興味が移りつつあった。

オグショーが広げる
アウトドアスポーツの世界

遠州のオフロードをもっと楽しく。



with CYCLING



with CAMPING



トランスポーター



with MOTORCYCLE



with DOG

II
HOT SHOWER SYSTEM
どこでも温水シャワー



with SURFING



with SEA KAYAKING



モトクロスにはレーサーを積むトランポが欠かせない。プロライダー小栗伸幸の経験豊富なノウハウが細部まで活かされている。



オグショーでは「危険は低く、楽しみは多く」を目標に少年やビギナーライダー向けのオフロードスクールも開催する。プロライダーが直々にレクチャーする貴重な機会だ。この中から未来のオフロードで活躍するライダーが誕生することを願っている。



モンゴルの大地を駆け抜ける小栗さん。ライダーとしてだけでなく、近年は主催者側のスタッフとして参加するライダーの安全をサポートする。

やりたかった夢を現実に
日本に帰国してからもバイクに関わる仕事をしたが気持ちには変わりはなかった。バイクショップや用品店も考えたが、メーカーやジャンルに縛られるのが嫌だった。「オンもオフも隔てなく、いろんなバイクに関わって仕事がしたい」そんな時、モトクロスをしている人が使っていたオグショーのトランポを思い出した。「そうだ、あそこならメーカー・ジャンル関係なく、バイクの仕事ができるかもしれない」と考え、履歴書を持って面接に行った。自分のバイク遍歴、やりたかったことを創業者の小栗さんと熱く話して、気がついたら半日経っていた。「明日から来てよ」と言われ、翌日から働くことになった。少年時代からずっとバイクを楽しんでいて「バイクに関わる仕事がしたい」その夢が現実になった瞬間だった。

いつまでも夢に向かって55歳の挑戦

小栗さんが現役引退後「日本初のトランスポーター専門店」を開いてもうすぐ30年。最近のレース活動の中心は海外ラリーだ。これまでUAEラリー、オーストラリアンサファリ、BAJA1000、ラリーモンゴリアなど様々な海外ラリーに出場してきた。その心の中心にあるのは「バリダカー」。初めて挑戦した海外ラリーで完走できず、不完全燃焼で終わった。「これまで出場する機会は何度あったけど、何となく目を背けていた。色々言い訳してね。今年の正月にラリー仲間がアフリカエゴレース（※）で格闘している姿をネットで見てもう、そのままバリダ力に行かないと人生を後悔するって」そう決心したら、すぐに行動を始めた。

めた。出場に向けての情報収集、ラリーを走りきるためのトレーニング。新型ウィルスの影響で参戦は少し先になる予定だが、トレーニングは続けている。「今は毎日がすごく充実している。ラリーは心が折れたら完走できない。だからバイク以外のスポーツも取り入れて、楽しみながら鍛えている」スポーツの根底にある楽しさ。その気持ちを大切に、オグショーのトランポにも活かされている。

バイクをどこでも楽しめる環境を作っていく

「オグショーバイク部」というお客様のグループがある。元はオンロードツーリングしか経験のなかった女性が、モトクロスを始め、ハマってしまっている。SNSで声掛けして練習会を企画。上達するための講師に小栗さんを招いた。お客様の輪が自然と広がり、定期的な集まりとなった。「バイクをもっと自由に楽しんでもらえたら」と思っています。オフロードだけでなく、バイクに興味があったらどんな遊びに来て欲しいです。お店や人場所など、いろんな楽しみ方を僕が紹介しますよ」バイクに限らずアウトドアスポーツの底辺を拡大する活動を続けるオグショー。そこにあるのは「お客様と一緒にスポーツを」ところな楽しさ。また、さまざまな自然に恵まれた遠州地域はまさにバイク天国。これから未来につながる新しいオフロードシーンが広がっていくことを期待したい。



らくらく積んでいつでも使える
どこでも温水シャワー

ホットシャワーシステム 本体価格 ¥228,000 (税別)

※その他、電源・ポンプ・給水システムが必要です。



OGUshow

〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町1841-1 TEL 053-421-0122 FAX 053-421-3686
営業時間/AM10:00~PM7:00まで 定休日/毎週日・月曜日
<https://www.ogushow.co.jp>

詳細についてはオグショーHPをご覧ください。

オグショー

検索

オグショーが広げるアウトドアスポーツの世界
遠州のオフロードをもっと楽しく。

やりたい人が、 やりたいことをやれる会社。

2005年、株式会社デイトナの創業者ヘンリー・アベからのバトンを受け継いだ鈴木紳一郎（現会長）。
激動の時代をどう乗り越え、どう成長させることができたのだろうか。



鈴木紳一郎
SHINICHIRO SUZUKI
(株)デイトナ会長

1961年生まれ。高校卒業後、ヤマハ発動機子会社を経て、阿部商事（現（株）デイトナ）に入社。創業者の阿部氏から要請され、2代目社長に就任。現在は会長として織田社長率いるデイトナを傍らからサポートする。

初めてデイトナに行った時、中村専務（当時）と面接が終わると、創業者の（ヘンリー）阿部さんから「あんた何ができるの？」と尋ねられ「何もできませんが何でもやります」と言っただけ。でも憶えている。最初に担当したのは北米ヨーロッパ向けの貿易業務。その頃のデイトナはカスタムパーツを扱う露田の小さな会社というイメージで、8割ぐらいが貿易の商社だった。その後、アメリカに修行に行く同僚のケリー・高橋さんから頼まれて国内営業を担当した。営業では新商品を車に積んで、全国を回った。主な営業先はバイクショップ。上手に売り込んで注文を取るのには苦労したが、商品の特徴を説明したり、お客さんが何を望んでいるかを掴んでくることには自信があった。ほどなくして商品企画や広報・宣伝を任されるようになった。

ド加工ではバルブのあたり面を一番馬力が出るように公差の範囲内で「調整」。今につながる『チューニング』や「カスタマイズ」の原点と言える。さらに定時後は完成検査ではねられたバイクの「修理」。検査票ではねられた原因を調べ、必要なパーツを取りに行き、1台のバイクとして完成させる。若いから体力もあり、誰に強制されたわけでもなく、ただバイクに触っているのが楽しかった。鈴木氏にとって、まさに工場がバイクの学校だった。

何もできないが、何でもやる。

初めてデイトナに行った時、中村専務（当時）と面接が終わると、創業者の（ヘンリー）阿部さんから「あんた何ができるの？」と尋ねられ「何もできませんが何でもやります」と言っただけ。でも憶えている。最初に担当したのは北米ヨーロッパ向けの貿易業務。その頃のデイトナはカスタムパーツを扱う露田の小さな会社というイメージで、8割ぐらいが貿易の商社だった。その後、アメリカに修行に行く同僚のケリー・高橋さんから頼まれて国内営業を担当した。営業では新商品を車に積んで、全国を回った。主な営業先はバイクショップ。上手に売り込んで注文を取るのには苦労したが、商品の特徴を説明したり、お客さんが何を望んでいるかを掴んでくることには自信があった。ほどなくして商品企画や広報・宣伝を任されるようになった。



デイトナが手がけるガレージ事業。きっかけは会長自らが購入したガレージから。バイクに乗れないときも、ライダーがじっくり眺めたりして楽しめるスタイルを提案し、幅広い層に普及が広がっている。



2005年、代表取締役社長就任時の鈴木氏。40代の半ばにしてヘンリー氏からデイトナのバトンが託された。

会社では定時頃になると、阿部さんから「ちやうどいい？」と言って毎日のように喫煙室に誘われた。そして商品開発やパーツについて、雑談も交えて2時間ぐらい話をした。一通り話終わると阿部さんは「じゃあね」と言って帰っていく。残された鈴木氏はそこから書類仕事などを始めるのだった。「僕はヘンリーさんと、よく話をした方だと思っ。誘われてイヤな顔をしながら、ヘンリーさんから「こんな事やりたいけど、どう？」と聞かれたり、僕が「これが面白い」と思いますが」と言ってみたり。とにかくいろんな話を話したり、教えてもらった。その会話がヒントになり、商品化したものも。今ほどプロセスが複雑ではなかったから、スピード感がある商品開発ができていった。「僕が思うに仕事は楽しんでやるもの。商品開発でも言ったもの勝ちだし、やったもの勝ち。誰かに言われてやるのではなく「やりたい人がやりたいことをやる会社」が伸びる会社だと思ってる」。今もデイトナにはこの社風が根付いている。こうしてライダーが望む数々のパーツが生まれていくことになった。

真にライダーが求める、質が良くコストパフォーマンスの高いパーツを開発し続けているデイトナ。2代目社長として舵取りを任された鈴木会長（以下、鈴木氏）。バイクとの出会いは幼い頃に遡る。自転車通勤していた父が初めて手に入れたバイク。弟と2人、父の前と後ろに乗せてもらったのが原体験。風を切って走る感覚が新鮮で感動し、楽しかった。当時は交通量も少なく、おどろかな時代であった。自転車に乗れるようになると、友人たちとオフロードコースを作って走らせた。その時に乗れる「一番速い乗り物に乗って」疾走「するの何より好きだった。高校時代は自転車のクラブチームに所属。ロードレースやトラック競技で、静岡競輪場や浜松オートのコースを走ったこともあった。もちろんバイクに興味がない訳ではなかった。自転車競技にのめり込んでいた時は「バイクは不良、弱音を吐いたヤツが乗る乗り物」と硬派に言っていたが、内心は違っていた。就職すると「通勤のため」という理由で免許を取り、50ccのミニレを手に入れた。実は乗りたくてうずうずしていたのである。入社したのはスノーモビルを作る会社。夏に製品を作ると、冬は人材派遣として他社に出向した。出向した先がヤマハのバイク工場だった。任されたのはタンク塗装や車体組立、SRのヘッド加工など、年ごとに違った。「俺のエンジンが一番」とハンマー一つでクランクの芯だしをする人がいたり、ヤマハの職人さんは優秀な人が多かったなあ」と回想する。塗装では今も乗っているTXのタンクを手がけた。ヘッド

バイクの製造工場で、
カスタムの原点を学ぶ。



常に成長すること。成長を目指して何でもやってみる。



鈴木会長(左)が進めてきた阿部イズムと成長のバトンを現・織田社長(右)に確実に引き継がれている。



国内最大級のパーツ用品専門店、ライコランド柏店。商品を見て、触って、ライダーが納得して購入できる環境づくりとライダー同士のコミュニケーションの場を提供する。

「ライダーには自分の技量に合わせて、無理しないで安全に楽しんで欲しいですね。うちの社員には、やりたいことがあれば、我慢せずにどんどんやればって言いたい。デイトナがずっと愛される存在であって欲しいし、幅広いことを受け入れてくれる会社だと思ってるから、バイクに限らずその時に自分がやってみたいことを楽しんでやって欲しいと思っています」

若い頃からバイクをいじるのが趣味で、社内には「紳さん小屋」と呼ばれる社員が自由に使えるガレージがある。バイクや自転車に乗るのも大好きで、近年ではサーキット走行を楽しむためにツナギを新調した。常に自然体で物事を捉え、趣味も仕事も同じように楽しんでいる。会社経営とともに人生を楽しむ極意を教えてもらった気がした。

何でも躊躇せずにやってみる。

鈴木氏は2016年に現社長の織田氏にバトンを引き継ぎ、現在は会長としてオートバイ用品店ライコランド、中古バイクパーツ買取、販売のアップガレージライダーズを運営するライダーサポートカンパニーの経営を担当する。

インタビュアの最後にライダーとデイトナ社員に伝えたいことを聞いてみた。

といった新規分野へ参入した。アメーバのように時代の変化を敏感に捉え、より良い方向へ変化と進化をすることで常にデイトナは成長をしてきた。



鈴木社長時代にデイトナがチャレンジした事業の数々。「DE01」はゆったりボタリングを楽しめる電動アシスト自転車(左上)大人のための街乗りにも似合うバイクウェアブランド「HenlyBegins」 「DAYTONA LEATHERS」(右上) いじって眺めて楽しめる「MOTORCYCLE GARAGE」(左下) 欧州No.1ヘルメットメーカー「NOLAN」(右下)

**経営哲学は変えずに
独自のやり方を反映。**

阿部さんからバトンを託され、鈴木氏が社長に就任したのは2005年。2代目社長に就任して「変わらないこと」を選択した。「デイトナは創業者の想いが込められた会社。うちには阿部さんの経営哲学をまとめた『社長趣意書』があります。そこに書かれている言葉は、総て腑に落ちる。だからガリリと変えるという選択肢はなかった。社内の誰よりも阿部さんと言葉を交わした鈴木氏。その経営哲学は社長就任のずっと前からしっかりと刷り込まれていた。

経営哲学は変わらないが、独自のやり方も反映させていった。鈴木氏が以前開発を担当した「バーチャルステアリングモンキー」。その考案者、羽田氏が鈴木氏を称して「チョイス型」と命名した。「僕は経営者になっても、自分から『こうしよう』とは言わなかった。代わりにみんなから



2009年から始まった静岡・森町 茶ミーティング。茶処の雰囲気が好評で、多くのライダーがイベントを楽しむ。

意見を聞き、その中で最良の案をチョイスした。社員に会うときは「最近どう？」と言って。その人が何をやりたいのか聞き、良いアイデアだと思えば「それいいね。やってみれば」と賛きつけた」鈴木氏のやり方は自分がグイグイ引っ張っていく「ドライブレ型」ではなく、やる気のある社員にチャンスを与えることだった。この「最近どう？」という問いかけ。実は創業者の阿部さんも口ぐせだった。つまり鈴木氏は阿部イズムの正統な後継者として会社を引き継いだのであった。

目的意識の明確化を。

現在のデイトナは、カスタムやツアリング、リリースなどの商品グループ制を敷く。グループ毎に商品企画と開発、販売促進を行う。鈴木氏が組織変革に着手したきっかけは、不振の四輪事業の立て直しだった。それまで企画部、開発部、営業部に分かれていた組織を、四輪グループとして全てまとめ、裁量を与えて自由にやらせた。すると内部のコミュニケーションが活発となり、これまでと違う視点で開発した商品がヒットした。その成功例を範にして全社の組織を変えた。グループ内で目的意識が明確化することで活性化し、開発スピードがアップ、自分で考える社員が増えて、結果的に魅力的な商品開発につながった。

デイトナを特徴づけるもう一つは「アメーバ型」組織。生産工場を持たないファブレス企業だから、企画力やアイデアで何でも形にする。リーマンショックで大きく売り上げが落ち込んだ時、鈴木氏が取り組んだのは新規事業部の立ち上げ。「時代が求めるものは何か」と全員で考え、太陽光発電や電動アシスト自転車



鈴木氏が社長時代に新規に立ち上げたエネルギー事業。本社内には800kw級の太陽光発電施設を設ける。テストコースは茶ミーティングの試乗会場としても馴染みで、パーツ開発の現場をニューマンとともに味わえる。

Tokai Chromaharp®

クロマハープ

楽器未経験の方でも
その日から弾ける!

クロマハープはこれまで楽器の経験がない方でも左手でコードバーのボタンを押して右手で弾く、これだけで充分です。子どもから大人まで誰にでも気軽に楽しめます。

手にしたその日から、
やさしく弾ける

クロマハープ(サンバースト)
NCH-2S SB
¥72,600(税込)
NCH-2S-P SB(ピエゾ付)
¥107,800(税込)

クロマハープ(ナチュラル)
NCH-3N N
¥86,900(税込)
NCH-3N-P N(ピエゾ付)
¥122,100(税込)

発売元
東海楽器製造株式会社
〒430-0835
静岡県浜松市南区遠州浜2-26-10
TEL 053-425-2800
FAX 053-426-1574

詳しくは
こちらから

マンブルズ広告
(¥25,000)

遠州の銘品

東海楽器製造株式会社
「YOTARO」&「SAKURA」
TOKAI with EnshuSiaSt
COLLABORATION MODEL



古くからファンを虜にしてきたTOKAIのプレミアムシリーズがさらなる進化を遂げた。
木材の選別、加工から組み立てまで、すべて遠州のクラフトマンにより行われる完璧なパーツをビルトインした最高峰モデルと、エンシュージアストがコラボレーション。同じ遠州の画家、世太郎氏のイラストをボディに施した「YOTARO」タイプと、日本の象徴的な「美」である桜の花をマテリアル化した「SAKURA」バージョン。ともにオーダーメイドで作られる生粋の「メイド・イン・遠州」モデルである。

「YOTARO」モデル／AST-PoCプロトタイプ
「SAKURA」モデル／SG152-SKRプロトタイプ
※詳細はお問い合わせください。

東海楽器製造株式会社
南区遠州浜2-26-10
ホームページURL <http://www1.odn.ne.jp/tokaigakki/>
<http://www.40factory.com>

ignition model

車は俺たちに夢をあたえてくれる。ミニチュアモデルカーの新スタンダード。

国産旧車からラリーカー、Gr.Cカー、現代スポーツカーまでをラインナップ。

造形・フィニッシュにこだわりハンドメイドで細部まで

丁寧につくり込むミニチュアモデルカーです。



IG1761 1/18 CALSONIC PRIMERA (#12) 1994
JTCC INTERTEC FUJI With Mr. Hoshino
価格 ¥34,200 ※オンラインショップ限定 ※フィギュア付



IG1381 1/18 PANDEM R35 GT-R
Metallic White/Purple 価格 ¥28,000



IG0012 1/18 Nismo Omori Factory
CRS 価格 ¥25,850



IG0347 1/18 Nissan Skyline GT-R
Mine's (R34) White 価格 ¥23,100



IG0649 1/18 Nissan Fairlady Z (S30)
Blue 価格 ¥25,850



IG0984 1/18 Nissan Skyline 2000
RS-Turbo (R30) Red 価格 ¥28,050



IG1078 1/18 Nissan Skyline 2000
GT-ES (C210) Black 価格 ¥28,050



IG0744 1/18 Nissan Skyline 2000
GT-R (KPGC110) White 価格 ¥25,850



IG0619 1/18 Nissan Laurel 2000
GX (C130) White 価格 ¥25,850



IG0666 1/18 Eunos Roadster (NA)
Green 価格 ¥25,850



IG0771 1/18 Nissan Skyline 2000
GT-R (KPGC10) Silver 価格 ¥25,850



IG0542 1/18 Toyota Corolla Levin (AE86)
3Door GT Apex White/Black 価格 ¥25,850



IG0945 1/18 Porsche 911 (930)
Turbo Red 価格 ¥28,050

※表示価格はすべて税込価格です。



販売元: 株式会社ティーケー・カンパニー

〒431-3121 静岡県浜松市東区有玉北町2071

TK.company カスタマーサービス

TEL 053-545-3436

E-mail info@ig-model.com



ホットシャワーシステム <https://www.ogushow.co.jp/hot-shower/>



いつでもどこでも
温水シャワーの爽快感を。
カセットボンベを使用するポータブル温水シャワーがオグショーより販売開始。アウトドアスポーツなどの野外に持ち運び、その場で汗や汚れを温水シャワーで洗い流せる画期的な商品。



(株)デイトナ「DC25」
<https://myfarm-daytona.jp>

家庭菜園をもっと楽しく
スタイリッシュに。
遠州森町の(株)デイトナから発売されたスタイリッシュなカルチベーター「耕うん機」DC25。ライダーの心をくすぐるデザインや、振動を吸収するリンクサスペンションが搭載されているので、家庭菜園がより楽しくなること間違いなし。



株式会社スプラウト
<https://sprout.co.jp/>

オーダーメイドのシート張替えて
自分の個性を演出しよう。
バイククルマ自転車シート張替えを専門とするスプラウト。ショールームのシート製作も多数担当。その技術は折り紙付き。愛車のシートを張替えて、自分仕様にカスタムしては?

ドーナツのド ツインズ平松

音楽マニアのツインズ平松が送る謎のコラム。
音楽産業がのりについていた昭和の時代にしか
発売しえなかった珍盤・奇盤(ようするにゲテモノ)
レコードを毎回紹介していきます。
※編集部注:次回があるとは限りません



イラスト:わたたく

毎週のようにレコード屋の棚を漁っていると、100回に1回ぐらいはお宝(人によってその価値は変わりますが)に出会うことがあります。そこで今回は自分の独断と偏見で、昭和を代表するアイドルグループ、キャンディーズに関する珍盤を紹介したいと思います。

昭和53年、まだ人気絶頂だったキャンディーズが後楽園球場で解散コンサートを行った1年後、当時のディスコブームに便乗して企画、発売されたのが「キャンディーズ・ディスコ・ヒート」というアルバムで、ディスコ調に編曲されたキャンディーズの名曲をクリスタル・スリーという謎の女性3人組が歌ったノースハリウッド(USA)録音の盤です。

このクリスタル・スリーというグループはネットで調べても、このLPとシングルカットされた1枚のEP以外出てこないで、B級感満載ですが、そこは一応ハリウッドの方なので一流ミュージシャンということにしておきます(このグループについてご存知の方はご教授お願いします)。

歌詞を英訳し、曲調もディスコ化、全編ダンスバブルに仕上がっており、今聴いても十分にかっこいい。個人的には名曲「春一番」のアレンジが秀逸と感じました。

しかし日本のアイドルである「キャンディーズ」というネームに釣られて購入してしまったリスナーに聴きやすいようにした配慮なのか、時々歌詞の一部がローマ字読みの怪しい日本語で歌われるというなんとも奇妙な仕上がりになってしまっています(諸先輩方なら「ディスコお富さん」など記憶にあるかと思います)。

いやあ、いい。昭和の音楽って本当にいいものですね...と、まあ自分がこうやって熱く語っても、実際ほとんどの人は話を聞いてくれません。でもそれこそがマニア道。来週も再来週も時間の許す限り、遠州中のレコード屋に未だ見ぬお宝を探しに行ってみよう。

乗り物と素材とそのほかの話 Vol.4

整った!?

店舗をGSビル北側に移転しました。
以前の場所には新しい仲間のGSジムが入っています。
当店は一本北の道沿いになります。



山本 雄一郎

やまもとゆういちろう・1985年生まれ・大手発動機メーカー勤務後、老舗自転車店「Green Cog」店主。バイクも大好きで最近ヤマハXSR155を購入。

最近サウナが熱いって話題ですね。「サ道」なんて言葉まで産まれてるそうですよ。漫画原作でドラマ化までされたりと、何かとメディアに取り上げられる機会が増えているようです。しかしこんなご時世、密室たるサウナに足を運ぶのも少しだけ憚られる。そこでさらなる注目を集めたのが「テントサウナ」なるもの。

屋外で専用テントを設営し、その中で薪ストーブを焚いてサウナストーンを加熱、そこに水をかけて蒸気を起こす、「フィンランド式ドライサウナ」がこれだそうです。

室温は60〜110度ほどで、水をサウナストーンにかける行為は本場フィンランドでは「ロウリ」と呼ばれ、蒸気で肌に体感温度が上がり、ドイツでは「アウフグース」と言うそう、スタッフがタオルなどで蒸気を扇いで利用者の発汗を促すんだとか。

そしてガンガンに温まって汗腺爆発したら水風呂代わりに、川へドボン(冬のフィンランドでは雪に突っ込む強者も居るようです)。身体を



「一気に冷やして、温冷交互浴を楽しみます。そこで俗に言う「整う」感覚になるわけです。なぜ私がこんなにサウナに詳しくなったかと言えば、この夏にまさにテントサウナにチャレンジしてみたからです。元々風呂好きで、サウナも温泉施設ではよく利用しておりまして。テントサウナも興味はあつたのですが、専用用品一式揃えるとなかなかのお値段。本場のものなら30万円台、お安めの物でも10万円前後が相場です。そこで入念に下調べするでもなく、「とりあえず」なるべく手持ちのアウトドアギアでやってみました。

使ったのはサウナ専用のテントではなく、廉価な煙突対応のワンポールテントです。以前から愛用している屋外用キッチンストーブの上にステンレス鍋をセトし、そこに焼いても爆ぜない溶岩石を並べて雲囲気を出しました(笑)。ここにアロマオイルを混ぜた水を柄杓で垂らしてロウリ。室温も100度近くまで達してホクホクです。そして、12分計のベルが鳴ったらファイジャケットを着て川にドボン。

流れの穏やかな川べりを見つけてそこでんびりぶかぶか漂っていると、サウナの水風呂とも違ふ、とんでもない爽快感に包まれるという寸法です。ちょっと怪しいですね(汗)

と言うわけで、思いの外上手く行きまして、テストに付き合ってくれた友人達にも大好評でした。そこから調子に乗ってあれこれ揃えるうちに、チープな雲囲気ながらも本格サウナに負けない、さらに「整う」設備に仕上がってきました。

もしサウナ好きのアウトドアマンな読者の方がおられましたら、是非チャレンジしてみて下さい。新しい世界が見えてくるかもしれませんよ。

樽林の日常写飯 〜ブツ撮りはそれでもf8〜 Vol.4

商品撮影…それは儀式。



樽林 武俊

くればやしたけとし・フォトグラファー
1980年生まれ。実家は父の代からの町の写真屋さんで、幼少の頃からカメラを玩具代わりに育つ。お仕事とは別にライフワークとして「毎日(というほどでもない)ポートレート」を撮り続けている。

お疲れ様です。世の中はめっきり秋めいてきましたね。今日もお仕事で専門学校教授業に行つたのですが、その学生に「今日も半袖短パンって……40度の猛暑日と同じ格好じゃあないですか。季節感がなくてムカつく。どうかしてる。」と言われました。

自分より二十歳も下の子に言われると……あながち悪い気もしないものだな、と。そうか、もう秋がもうすぐそこまできているのだな、としみじみ感じたものでした。

さて、今回は前回まで3話に渡り「ポートレート撮影の楽しさ」を狂ったように語り続け、読者の皆さまも思わず目を覆いたくなったことと思います。もうこれ以上樽林のポートレート論を聞きたくはないと、意味がわからないと。吐き気がするぞ。ご安心めされい、今回はなんとブツ撮り・商品撮影に付いてやみくもに話していこうかと思ひます。僕はこれまで人にもちろん、お仕事としてたくさんの商品を撮影させて頂きました。タイヤのチェーン各種、アクセサリー、婦人靴、トートバッグ、コスメ、携帯用イスにサ



ラダ油、フィギュアに名刺にTシャツ……ここに食べ物を加えると、あげるだけで今回は終わってしまうのです。アイテムとしての商品から。

当日頃から「人を撮りたい人を撮りたい」と呪文のようにつぶやいておりましたが、実は商品撮影も同じように大好きなんです。

スタジオで照明を組み、撮影代の上に商品を乗せる。真っ白い空間の中で、商品たちはうっすら黄色いモデリングランプに照らされる。その目の前で三脚とカメラを構えれば、さながら何かの儀式のよう。

そうまさにブツ撮りとは儀式なのです。そこからは、商品との語らいが始まります。「よろしくお願いします」「アレ?どこかで逢った?」「肌ツヤ良いですね」「結構付き合いたいタイプかも」「一緒に暮らさないか」。そうしてお互いを知っていくうちに、気付けばブツ撮りという儀式はしめやかに終わりを迎えているのです。もちろん集中して語り、膝から崩れ落ちんばかりの疲労感。その疲労度こそが、商品としつかりと向き合えた証拠なのだ、と今では思っております。

商品撮影なんてチマチマしてて面白くないとか、動かないからつまらないだとか言う人は一度婦人靴やサラダ油の気持ちを考えてみればいい。きつ……きつと彼(彼女)らだつて一生に一度くらい、キレイに撮ってもらいたいと思っているに違いないから………違いない……はずだから……。たぶん。きつと。

Good Day Sunshiners

女はそれを我慢できない Vol.1

男子諸君! ちょっと聞きなさい!



岡本 直子

おかもとなおこ・デリシャスキッチン店主・1987年生まれ・浜松市内のイタリアンレストランの店長を経て、GSビル裏で定食屋を開業。趣味はカポエイラと特に汚れた靴をきれいに洗うこと。

みなさん、どうもこんにちは! 新しい執筆家、直子です。どんな小話を綴っているのかを考えていたのですが、「エモい」お話を!

エモいとは、最近の若者言葉で「ことばでは表せない感情が高ぶった状態のこと」だそうです。2016年に新語大賞を取った、「ほぼほぼ」に次いで第2位、ちなみに第3位は「ゲスい」でした! 一ではエモい・シヨナルなお話を徒然と。

わたしの夫(ジャイアン)風は、とても器用な人。明るくて優しく、長年独り身の経歴もあり、「ほぼほぼ」身の回りのことは自分でちゃちゃっとこなしてしまう人。「一般的に良く出来た夫。が、しかしーやはり結婚したら、妻の扱いが雑になった気がする。(あるある話)」

そう、彼はとても理屈っぽい人で割り切れない言いつけをするもんだから口ゲンカになることもいっぱい。なぜ、相手の気持ちを汲み取ることができないのか?

オレ(夫)が相手の気に触るようなことをしてまいったのなら、オレがまた同じことをしないような環境ややり方を、妻が変えればいいんだ! まさにジャイアン思考のオレオレ詐欺的なジャイアンリサイタル。もう「ばえ〜」の極地。なんですか、なんですか、なんですか?



また、似たような事件が起こる。この繰り返し。男性っていうのは女性の気持ちや言葉で言われないと理解できない生体なんですかね? 端から気持ちに寄り添えない感じ。夫よ、これがケンカの原因なのだよ。

共感とまではいかないまでも、もう「エモい」を感じて付き合って欲しい。例えば妻が不機嫌になった時、ふさげてないで、何が原因なのかよく考えて欲しい。

怒られたらまず……気をつけ! ヘラヘラしない! 歯を見せない! ちゃんとして! 真剣に不機嫌な妻の話をとりあえず聞くこと!

世の中もつとひどい目にあつてる奥様たちはたくさんいると思いますが、基本はこれ。夫婦間の話だけでなく、男女の付き合いには、このバランスが大切な基本なのです。男性はいつたん、女性の気持ちを汲み取って受け入れたのちに、発言するべき。恋愛がつましくないそのことを、言いたくはない。恋愛がうまくいかないそのことを、騙されたかと思つて実践してみよう。

そしてもう一つオチ。女子会は「ゲスい」と思われがちですが、実は女子会ネタランキングでは、第1位・話題のアイドルの話もイケメン男性76%、第2位・筋力の話、タイヤとともね13%、第3位・子供やペットの話、愛するものの話は楽しいよね11%。と、私が小耳にはさんだ割と信頼できる調査結果。

女子会は「ゲスい」だなんて大きな間違い。男性(夫や彼氏)の悪口なんて言っていない、むしろ登場すらしていないのが現状なのだ。おしまい。

最近思った事、ずっと思ってる事。 Vol.4

素晴らしい原付二種



芳松 鎮

よしまつおさむ・1973年製・2016年12月、超思いついて脱サラし浜松市南区にGSバーガーを開業。金のかかる趣味ばかりで、結婚してからは仙人のような生活をしております。

「ロナ禍」という文字を見ない日が無い今日この頃、皆様は元氣にお過ごしでしょうか? 一日でも早く、この当たり前の日常に戻る事を心より祈っております。

さて本題です。自分は20代前半の頃から、大型バイクにのびのびの生活をしておりました。

初めて買った大型バイクはモトグッチ1100スポーツ、かなり癖が強いバイクで慣れるまでに相当な時間がかかりました。故障も多く手がかり可愛かったです。ビッグスクーターを挟み、のちに購入したのがドゥカティのモンスタースター900。かなり無茶なロングツーリングも行って、楽しかったのですが、我が家に愛犬を迎えてから休みの過ごし方が愛犬を連れてドライブお散歩に変化し、バイクに乗る機会が激減してしまつたので、止む無く手放したのが7、8年前。以前では考えられない「バイクの無い生活」をしばらくしてきましたが、当店に御来店される色々なバイクに刺激を受けて、ついにリタインライダーとなりました。

バイクを購入するにあたり考えたのが、今までのような大型バイクを買っても、同じように乗る機会が少ないのでは? という点。そこで思つたのがこの際だからバイクとの付き合い方を考えよう!! という事。

レジャーバイクでなく働くバイク+α程度のバイクにすれば、毎日の仕入れと通勤+休みの日の近場ツーリングもできるし、乗る機会も多くなるなど、チョイスしたのがクロスカブ1100です。原付二種というカテゴリに乗ったのは初めてでしたが、まあこれが便利便利。」「ザ、普段の足」という感じで、乗るまでの気合いが要らないし、軽いから取り回しが楽なん。

任意保険も車のファミリーバイク特約でOKだし、当然車検も無い、燃費はリッター60キロ以上走る。とにかく維持費が安いぞ。

先日、浜松一名古屋間を往復ツーリングしてきましたが、大型バイクなら半日もからない工程がクロスカブだと丸日の大冒険になります。一般道をひたすらトコトコ約260キロノースレスではどい、クッタリ感が心地よく、ガリン代は往復で5000円程。

大型バイクの、有り余るパワーの中から必要な分だけを使って走る優越感も楽しいですが、原付二種がこんなに楽しい夢のある乗り物だったとは目からウロコ! こねは長いお付き合いになりそうな予感です。





協力:
ベヘモーターサイクルズ

The EnshuSiaast Magazineは記載のショップにて配布しています。

浜松市中区

印度カレー mana	053-458-1773
オフィスヒット	053-489-3470
CUSTOM FEVER	053-455-6755
自家焙煎珈琲店 鴨江珈琲	053-571-2759
川島モーターズ本店	053-471-2543
川島モーターズ元浜店	053-478-0877
ヘアアートエ・キートス	0120-416-429
くれいじーママ	053-473-7955
カフェレストランざぼん	053-441-9820
Sonix	053-476-6688
タイラレーシング	053-437-2125
TSUBAKI AUDIO	053-471-8181
HighMeal	053-525-9552
Piste HAIR DESIGN	053-489-3336
ピストロ・ヒルマン	
PLATERO	053-456-2957
古橋商会	053-453-5985
PRECIOUS JUNK	053-455-5625
ホンダドリーム浜松	053-412-6330
POPS倶楽部	053-525-7383
MUMBLES	053-420-0728
Live House浜松窓枠	053-451-3035
ROBANOMIMI	053-471-0022
YSP浜松	053-465-4545
ヤマハミュージックリテイリング浜松店	053-454-4111

浜松市東区

art tool／アートツール	053-422-7765
アニー コーヒー	053-581-9777
アビーロード	053-467-0533
オグショー	053-421-0122
オートプラザドリーム	053-411-0819
音楽天国 浜松市野店	053-462-1059
SWEN浜松店	053-411-5133
スズキワールド浜松	053-464-8198
Tickle	053-467-0160
トライアンフ浜松	053-422-6711
南海部品浜松店	053-463-0111
ハーレーダビッドソン浜松	053-466-3210
b SPACE	053-422-2055
Huge Motorcycles	053-411-8334
HYOD PLUS浜松	053-465-8282
PePe Motorcycles	053-581-7685
遊楽民	053-571-0703

浜松市西区

カワサキ ブラザ浜松	053-415-1177
コーヒー・ブラックバード	053-486-0365
DATZ浜松	053-486-1200
福ちゃん 坪井店	053-449-5555
福ちゃん 舞阪店	053-596-3019
ライダースカフェはまなこ	053-596-3770
4xC	053-489-3113

浜松市南区

いろどり屋	053-482-9809
カマラド・ガラージュ	053-426-2830
KUSHITANI浜松本店	053-443-1819
Green Cog	053-441-4250
GS BURGER	090-8544-5356
GiL HAIR&SHAVING	053-548-6454
デリシャスキッチン	090-6023-9800
ドゥカティ浜松	053-411-8880
MotoService EDGE	053-424-8586
Rachel	053-589-5927

浜松市北区

サンマリノ	053-523-1185
太鼓屋JALI	053-523-2986
T-flow	053-526-0806
長坂養蜂場	053-524-1183
HORSESHOE-BEND	053-525-9985
WATTS	053-526-2261

浜松市天竜区

Spiral	053-925-6001
本田宗一郎ものづくり伝承館	053-477-4664
マイルストーン	053-923-1250

磐田市

カフェ レッドローズ	0538-74-1454
クロスオーディオ	0538-32-1023
ダイナオガレージ	0538-55-6655
KNOTT'S BERRY FARM	0538-35-7003
美容室 カモミール	0539-62-6077
兵藤楽器磐田店	0538-37-0354
モトガレージ ベッカク	0538-38-9094
ライダーハウスKEN	0538-66-7645

袋井市

koti by Luomu	0538-48-5522
JUNK MASTER	0538-84-7996
SWEN袋井店	0538-41-2155
兵藤楽器袋井ミュージックセンター	0538-42-2037
めがね工房FUJITA	0538-23-8912
RIDER'S	0538-43-6005
YSP袋井	0538-43-4646

掛川市

大石農場ハム工房	0537-48-5618
しばちゃんランチマーケット	090-2342-2725
ならここキャンプ場	0537-25-2055
Rise Burger	0537-29-6613
LEFTY BOND	0537-26-9068

菊川市

アイアンクラフト	0537-26-9900
----------	--------------

御前崎市	
Cookhouse椿	0537-86-7150
コピポット (KOPIPOT)	0548-63-6620

湖西市

杉浦タイヤ商会	053-594-1728
はまなこ みんなのカフェ	053-578-3888
BONZO COFFE	053-528-7686

愛知県豊橋市

福ちゃん 大岩店	0532-43-0787
福ちゃん 二川本店	0532-41-7019

東三河地区

バイクサポートFTW	0532-88-6011
バイクショップZAPPER	0532-32-7576
FULL HOUSE	0532-35-6684

お熱いのはお好き？

クシタニさんの取材で鈴鹿サーキットへ出かけた。土砂降りの東名高速を走り、三重県に入ったころには晴れ間も見え「今日はいい絵が撮れるかも」と思ったのもつかの間、取材途中に再び雨が落ちてきた。後から考えると「確か自分のサーキットデビューも雨の鈴鹿だったな」などと思うが、当日はそんな余裕もなく、いつになく緊張していた。ピークを迎えたのは、インタビューを一通り終え、撮影のためにピットの内側に入ったとき。スタッフの方から「ここから先はチームスタッフもビリビリしているの」との注意を受ける。ピット内部は関係者だけが入ることを許される閉ざされた世界。ピットレーンとの行き来に通路はなく、チームが作業している脇を慎重に通過して、内側に入ることとなる。雨のレーシングコース。ピット前の狭い軒下にかくうじてスペースを見つけ、チームを撮影する。そこには10代のライダーがイヤホンで音楽を聴きながら、レース前にリラクセスする姿。別の選手は椅子に座りながら、どこを見るでもなく視線を落としている。出走前、直前までマシンの様子をチェックするメカニックたち。その表情は淡々として、特別気負った感じもないが、和やかな雰囲気もない。長いこと忘れていた、サーキットを走っていた頃の言葉では話れないピーンと張ったテンションが蘇ってきた。国際ロードレースでは、その何百倍の真剣さが漂っている。この現場の空気を肌で感じるために自分はここにいる気がした。時間にしてわずか1時間程度の出来事。撮影を終えてピットの外に出たとき、自分の背中がガチガチにこわばっているのを初めて感じた。



テキサス大沼

エンシェージアスト編集長。20歳でバイクの免許を取り、これまで様々なバイクを所有。現在の愛車は91年式の900SS。相変わらずオーディオ沼にどっぷり浸かり、この夏念願の真空管式のアンプを入手。ただし灯入れは涼しくなった秋になりそう…。



エンスーの讃歌

今春、縁があつてルノー カングー（初代後期型）を手に入れた。マイカー人生23年、初のフランス車である。4ATにクセがあつたり、ワイパーとウインカーのレバーが逆だったり、オイルゲージがめちゃくちゃ見難い所についていたり、今まで国産ミニバンしか乗ってこなかった自分には、びっくりする事だらけだ。しかも、この年代のカングーお決まりの故障である3速に固定されてしまう症状が早速出て、いきなりドック入りだった。と、人に楽しそうに話している自分がいる。思えば今まで会ったエンスーの人たちも同様に、手がかかる事を楽しげに話していた。2CVが雨漏りしたとか、ビートルの床が抜けたとか。はたまた、何年もドックに入りっぱなしで乗れないだとか。何故か楽しそうに話す。乗れないのにだ。よく「手のかかる子ほど可愛い」とか言うけれど正にそんな感じだろう。普通の人には到底理解できない事である。電気自動車が自動で走るのご時世に燃費も悪く、安全装置も付いてない、エアコンすら付いてないしそもそも乗りたい時にエンジンがかかるかどうか怪しい。乗るのにも維持するのにも苦行でしか無く、愛車の機嫌を損ねないように手をかけ続けるエンスーたち。外から見れば、タチの悪い女に騙されているように見えるかもしれないが、本人は最高に幸せなラブラブ時間を過ごしている。純愛と言っても過言では無い。そう、エンスーとは究極のロマンチスト達の愛の営みなのだ。分かる人にしか分からない世界であり、興味がある人しか知らなくてもいい世界。だんだん我が家のカングーもフランス娘に見えてきた。危ない危ない。



ドン・サハラ

エンシェージアスト デザイナー&エディター。西アフリカのジャンベとブラジルのサンバ、そして日本のサザンをライフワークにしている太鼓野郎。愛車はH-D XL883N。エンシェージアスト特攻隊長として、重い体を引きづりながら西へ東へ突撃取材します。

継続は力なり

新型コロナウイルスの影響で、東京モーターサイクルショーを皮切りに、様々なバイクイベントが中止となり、遠州ライダーの一大イベントでもある「バイクのふるさと in はままつ」も当然のように中止になってしまいました。そもそも8月19日が語呂合わせで「バイクの日」というのもどうか（実際、暑くて乗れたモンじゃない）と思いますが、その日に合わせて「年に一回」という超スローペースで発行し続けてきた当エンシェージアストマガジンも、さすがに今年は無理なんじゃないかと内外から懸念する声もありました。しかし、梅雨明け頃にはコロナの影響も多少薄れ、「密」を避けての取材や撮影も可能な状態となり、各方面からのご協力、ご支援の声に押され、それらにお応えすべく「やっちゃえ、エンシェージアスト」となりました。発行こそ秋にずれ込みましたが、バイクに乗るには最高の季節です。おかげさまで今回の「バイクウェア&ギア特集」などは、とてもタイムリーな記事になりました。まだまだ遠州の産業と経済が完全復活するには時間がかかりそうですが、バイクを愛でたり、音楽を聴いたりする時間は今まで以上に増えたのではないかと思います。今回ご登場いただいた熱中人は皆元気で、カッコ良くて、パワフルです。どんな状況下でも、できることを模索し「好きを諦めない」姿勢がひしひしと伝わってきました。実際、趣味と仕事の両立は難しいものだと思いますが、当スタッフは全員ライダー&音楽好きなので、本紙のような編集作業はまったく苦ではありません。そして今年も無事に発行できたことを誇りにし、これからも「継続は力なり」で、懲りずにつくり続けていく所存です。



山さん山川

エンシェージアスト編集発行人。（有）キークエスト クリエイティブ代表。モーターサイクルと音楽とデザインをこよなく愛する55歳。愛車はトライアンフT110とカモメ行灯のスーパーカブ。ヘルメットはラメ入りのArthur Fulmerを日替わりで。

タンデムナイト sequel

SNSでの再会から数ヶ月、帰国後のバタバタも落ち着いたらと連絡をもらって、やっとA美と会うことになった。ネットに上げられた近況でお互いの年齢の重なり具合はわかっていたものの、175,200時間のお互い知らない時を抱えているのだ。約束の日まで喜びと不安が交互に湧き上がり、まるで初デートの前のティーンエイジャーだと自嘲する始末だった。二人の行きつけだったお店はマスターが亡くなりもう閉店している。お店の駐車場が使えない時に彼女の車を停めていた、湖畔の公園の駐車場で待ち合わせた。時間はあの頃と同じ仕事上がりの19:00だ。ゆっくり話もしたかったので車で出かけ、時間より早めに待ち合わせ場所に着いた。タバコを一本吸う間も無く、駐車場に一台のバイクが入ってきた。パーチカルツイン特有の小気味いい排気音。トライアンフだ。ゆっくりこちらに近づいて来る。「まさか…」。俺の車に横付けしてゴーグルを取り赤いヘルメットを脱いだのは紛れもなくA美だった。「久しぶり」。何か声をかけようと口を半開きにしたまま、啞然とする俺より先にA美が言った。「向こうで免許を取ったの」。渡米中に免許を取って向こうではハーレーに乗っていたと言う。帰国してから俺が昔乗っていた、Wに雰囲気似ているボンネビル（本来なら逆の話だ）を手に入れたそうだ。荷台にネットで固定していた黒いヘルメットを取り出して彼女は言った。「久しぶりにタンデムしましょう。ただし今日はあなたが後ろね」。「悪くないね」。俺はヘルメットを受け取った。そう、悪くない再会だ。まだ少しだけ陽が残る西に向かって彼女はアクセルを開けた。



アジト石塚

編集部内のマルチスィーパー。デザインはもちろん文庫からカメラ、イラストまで担当。FRP加工から革、銀、粘土など素材を問わずアナログなモノづくりが趣味。知人から譲ってもらったオンボロKawasaki Dトラッカー250をいじるのが最近の楽しみ。



**福ちゃん
二川本店**

住所:豊橋市雲谷町川通り23-70
TEL:0532-41-7019

**福ちゃん
大岩店**

住所:豊橋市大岩町東畑69-2
TEL:0532-43-0787

**福ちゃん
舞阪店**

住所:浜松市西区舞阪町浜田479
TEL:053-596-3019

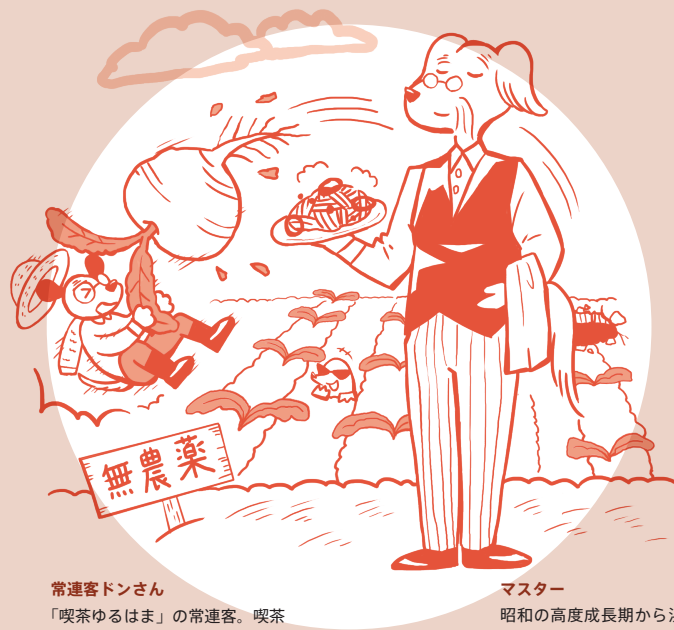
**福ちゃん
坪井店**

住所:浜松市西区坪井町4383-2
TEL:053-449-5555

※メニュー写真はイメージです。器、盛りつけは写真と異なる場合がございます。ご了承ください。 ※福ちゃんでは各店舗ごと創意工夫し、味・内容・値段等が異なります。ご理解ください。



浜松市内の一角にある、知る人ぞ知る隠れ喫茶「喫茶ゆるはま」には、昭和の時代から遠州の喫茶文化を見続けてきた名物マスターと地元を愛する常連客ドンさんが、遠州の喫茶文化について毎日雑談しています。



常連客ドンさん

「喫茶ゆるはま」の常連客。喫茶店が大好きで、遠州地域の喫茶店に足しげく通い、マスターに話を聞いてもらいにくる変わり者。

マスター

昭和の高度成長期から浜松市で「喫茶ゆるはま」を営んでいる名物マスター。遠州地域の喫茶文化に造詣が深い。寡黙だが人の話を聞くのが上手。

時代に合わせて 変化する老舗喫茶論

カランコロン：
マスター（以下マ）：いらっしゃい。
ドンさん。
ドンさん（以下ド）：おう、マスターいつものね。
マ：はい。いつものブレンドね。どうしたの？いきなり写真なんて撮りだして。
ド：いやー、最近インスタに凝っちゃってね。
マ：へー意外だねードンさん。そういえば、SNSをうまく活用している老舗の喫茶店があるよ。
ド：佐鳴台にある「喫茶店ヒコウビラン」だろ？インスタ毎日チェックしてるよ。老舗なのに珍しいな。
マ：そうそう。チェーン店でもない限り老舗の喫茶店がSNSを活用するって珍しいんだけど「ヒコウビラン」さんは時代に合わせてるお店だね。
ド：そういえば、お店の看板には1978年創業って書いてあったな。
マ：今年で創業42年だね。確か今の店長が二代目じゃないかな。実は「ヒコウビラン」さんは浜松にある管工事会社のレストラン事業部が経営しているんだよ。老舗の喫茶店としては珍しい経営形態なんじゃないかな。
ド：そりゃ知らなかった。てっきり

個人経営かと思ってたよ。
マ：僕は今の店長も顔見知りだけど、レストランウェディングで働いていた店長が先代と縁があって10年くらい前に店長を受け継いだ経緯があるみたいだよ。
ド：確かに、そんぐらいの時期に雰囲気が変わって変わった覚えがあるな。
マ：まだ30代で若いのにこだわりのある店長だね。料理に妥協しないあの姿勢にファンがついてるんじゃないかな。
ド：SNSでも毎日綺麗で旨そうな料理をアップしてるもんな。
マ：無農薬野菜を使用したこだわりの料理だからね。会社に自家農園があるみたいで、そこで栽培された安心・安全の野菜が届けらしいよ。
ド：駐車場もお店も広くて居心地がいいから、俺もたまにバイク仲間と飯を食いに行くんだよ。
マ：以前店長に会った時に言ってたけど、ドンさんみたいなバイクのお客さんや自転車でのお客さんが今後もっと利用しやすいように駐輪場を作る計画もあるらしいよ。
ド：外にパーベキューができるテラス席もあったりして、うまく時代にマッチしてるよね。
マ：常連のお客さんを大事にしつつ、新しいお客さんにも満足してもらうように努力してるのが伝わるよね。キッズルームを作ったりして、老若男女全てのお客さんに喜んでもらおうって



喫茶店ヒコウビラン
浜松市中区佐鳴台一丁目15-28
TEL:053-440-8008
営業時間/AM9:00~PM9:00 (L.O. 8:30)
定休日/木
<http://www.hikoubiran.com/>

いう気概を感じるね。
ド：そういえば前から気になってたんだけど、店名の「ヒコウビラン」の由来ってマスター知ってる？
マ：うーん、確かな情報じゃないんだけどね。あそこは昔「彦尾村」って言ってたらしいんだ。そこから「彦尾村」↓「ヒコウビラン」↓「ヒコウビラン」になったらしいんだけど……
ド：マスターでも知らない事があるんだね。
マ：中々当時を知る人が少なくなっているからね。当時といえば、昔は周りにお店が少なく、デートの待ち合わせ場所でも賑わってたよ。お店にピンク電話があって、お客さんからお客さんにかかってくるみたいだ。
ド：懐かしい！俺も約束の時間から遅れそうになると、お店に電話して取り次いでもらったもん。
マ：そんなドンさんが、今じゃスマホでインスタって言うんだから、ドンさんも時代に合わせてパージョンアップしてるね。
ド：まだまだナウなヤングには負けないよ。



We create the safety world.

www.kushitani.co.jp



EnshuSiaast

The EnshuSiaast Magazine/Vol.4 2020年10月25日発行

発行 | 有限会社キーウエストクリエイティブ 〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町 101-22小川ビル 3F-5 エンシューシアスト編集部

本誌に記載されている記事、写真等の無断掲載、複写、転載を禁じます。

Printed in Enshu